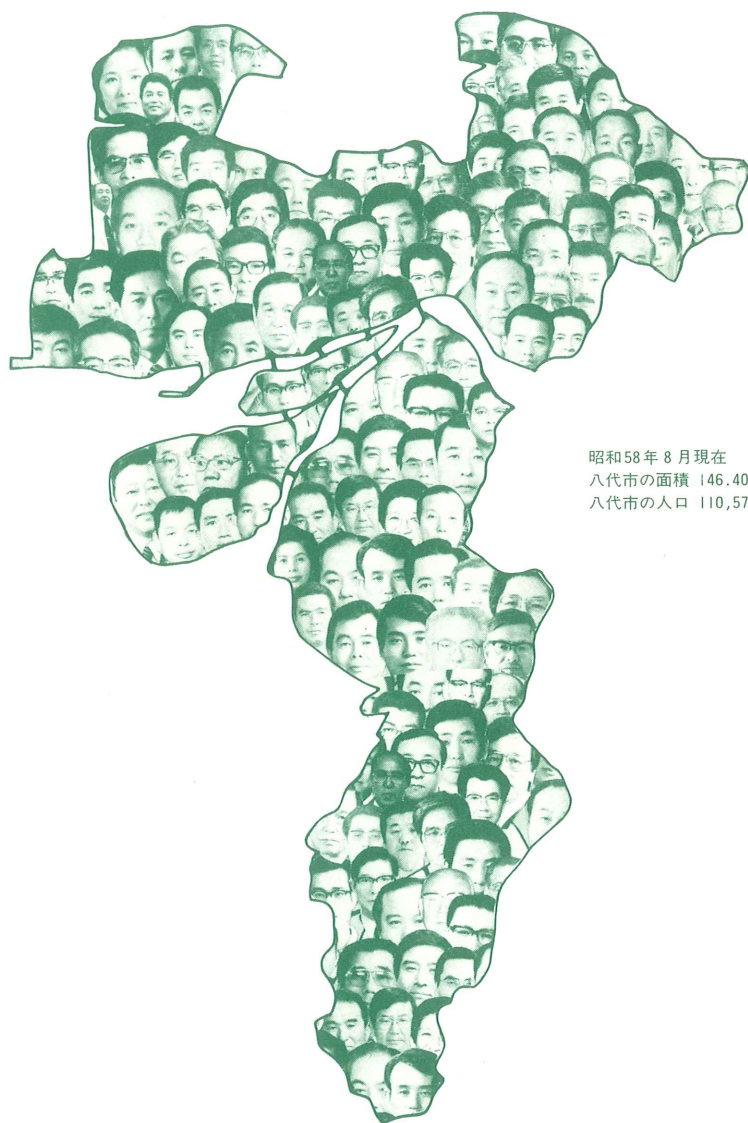


20周年記念誌



昭和58年8月現在
八代市の面積 146.40km²
八代市の人口 110,570人

八代経済同友会

昭和58年9月

20周年記念誌

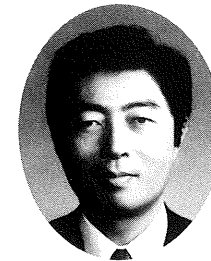


昭和58年8月現在
八代市の面積 146.40km²
八代市の人口 110,570人

八代経済同友会

目次

祝 辞	3
代表幹事挨拶	7
創立20周年記念行事	8
年 度 報 告	9
物故者追悼文	25
同友会20年の歩み	29
記 録 写 真	39
会 員 寄 稿	44



次代への展開を期待

熊本県知事
細 川 護 熙

であり、また、
県南の文化・経
済の中心都市
として大きく発
展する可能性を
持った都市だと
確信しておりま
す。

八代における経済界のリーダーの方々が地域の振興と住民福祉の向上をめざして結成された「八代経済同友会」が創立20周年を迎えられ、心からお祝いとお喜びを申し上げます。

皆さんが明るい郷土の発展のため自らを磨き英知を結集しようと昭和38年に「八代地域開発研究会」を発足されて20年を数えるわけですが、この間、国内的にも国際的にも激しい経済界の変動がありました。県内においても八代地域においても、勿論これを避けて通ることはできませんでした。

しかしながら、こうした時代にあっても、地域の方々のご努力によって交通網の整備をはじめとする生活基盤の整備あるいは産業基盤の確立など素晴らしい進展をとげ、今日の繁栄と安定した社会が実現したのであります。

八代市におけるこうした近代化の推進に大きな原動力となってこられたのが、経済同友会の皆様方であろうと存じます。

県下随一の工業都市八代市は、近年の産業構造の変革による大きな影響を受けておりますが、将来的には企業立地にとって大変すぐれた地域

「活力ある都市」「人々にとって生きがいのある都市」といわれるものは、そこに住む人々が中心となって地域づくりを推進している地域であります。

八代経済同友会の皆様は、これまでも地域づくりのパイオニアとしての役割を果たしてこられたのでありますが、創立20周年を迎えられたのを契機として、さらに八代市発展のために中心的団体として一層ご活躍くださるようご期待申し上げますと共に、会員の皆様の益々のご発展を祈念いたしましてお祝いのことばといたします。

●本欄は、顔写真を入れた会員紹介の欄です。（アイウエオ順）



祝 辞

八代市長
岩 尾 豊

八代経済同友会の創立20周年記念誠におめでとうございます。心からご祝辞を申し上げます。

貴会は、昭和38年、不知火・有明・大牟田地区新産業都市指定を契機に、八代地域開発研究会、八代市産業開発研究会を結成され、のちに八代経済同友会と改称、今日に至ったと聞き及んでおりますが、発足以来今日まで、一貫して、八代市域における地域開発、経済浮揚問題と積極的に取り組み、常に、本市経済界のリーダー的役割を果たしてこられたことに心から敬意を表する次第であります。

昭和42年、八代青年会議所と一緒に推進されました西日本新聞社主催の「八代市都市診断」は、八代市が昭和44年に策定した、八代市のマスタープランづくりに大きく貢献されたものと思います。

また、貴会は都市交通問題にも高い関心を示され、大手町踏切（球磨川駅引込線）の青信号機設置問題では、鉄道踏切で通過車輛が一旦停止することなく通過できる利便とその経済効果を考えるとき、貴会が果されましたその推進力としての役割は高く評価されるところであります。

す。東幹線の早期開通問題でも大変お世話になりました。

私自身、貴会の例会には度々お招きを受け八代市の政治・経済・文化について忌憚のない意見の交換を行

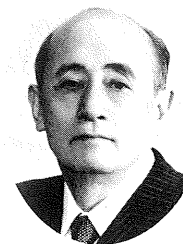
い、種々ご指導・ご鞭撻をいただきました。心から謝意を表するものであります。また、「くま川祭り」に関しては、わざわざ高知まで視察団を送って研究され、種々のご提言もいただき、昨年からそのメインとして「市民総踊り」が実施されるや、率先して参加され、牽引車的な役割を果たしていただきました。

自らは、商店街活性化のための先進地視察を毎年実施され、著名な経営コンサルタントを招かれては勉強会をもたれるなど積極的な学習活動もすすめられてこられました。そして、その成果を会員諸兄の企業経営に生かし、ひいては、それが八代市経済の浮揚に役立っていることを思うとき、誠に感謝にたえません。

創立20周年を迎え、八代経済同友会の限りないご発展と、会員諸兄の益々のご健勝を心からお祈り申し上げます。

最後に、かねがね、私自身に寄せられました温かいご支援、ご協力に対し心からお礼を申し上げます。お祝いのことばといたします。

祝 辞



八代商工会議所
会 頭 吉 永 優

八代経済同友会の創立20周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

一口に20年といいますが、人間に例えますと、生まれてから成人式を迎えるまでの歳月でありまして、この間に一つの任意団体でありながら、八代市に経済同友会ありという一人前の地位にまで上げられたことは、歴代の代表幹事並びに幹部のかたのご苦労はもちろんのこと、会員皆様の並々ならぬご努力があったからこそ、衷心よりお慶びを申し上げる次第でございます。

昨今の我国の経済は、外面においては、逆オイルショックが懸念されながらも原油価格の引下げによりいくらか明るい見通しが見えたようには思えますが、貿易問題では課題も多くかかえておりますし、内面においては、景気はやっと底を打った程度であり、回復の兆しは未だの感があります。特に素材型業種や建設業においてはその感が強く、加えて行財政改革、春闘における賃金の低上昇、人事院勧告の凍結等は内需の低迷に拍車をかけるものでありまして、この凍結を果して喜ぶべきか否か大いに疑問を抱

くものであります。

又、本市においても全く例外ではなく、臨海工業用地の第3工区は完成も間近でありながら

進出企業の噂もなく企業誘致に苦慮しておりますし、その企業進出に期待した人口増もゼロに等しい状態にあります。これらを如実に物語るものが、昨年度において受けた特定不況地域の指定でありましょう。この認定を受けた企業は300数社でございます。業種もあらゆるものに亘り、融資額は30億円を超えております。いかに当八代市が景気の低迷にさらけ出されているかを表わしたものと思う次第でございます。

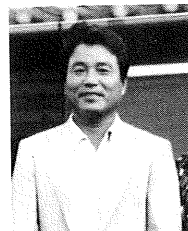
このような時、当八代商工会議所も八代経済同友会も組織のあり方に相違はありますものの目指している目標は同じでございます。商工業の、或いは地域社会の振興発展、そして「住みよい豊かな商工業都市」を目指して今後お互いに連携を密にして邁進していきたいと思う次第であります。

貴会が今後「新しい節目」を求めて益々ご発展されんことを、そして地域社会にご貢献あらんことを心から祈念致しましてお祝いの辞といたします。



廣 告 美 術

有限会社 アラキエ工芸



住まいづくりを
トータルに考えています

畳工事・カーテン工事
内装工事

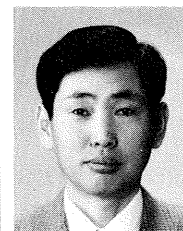
株式会社 三 和 天



くらし豊かに、くらし快適に
城南プロパン商会

- ガス部
- 住宅設備部

城南プロパン商会



歯科用医薬品、器材販売

有限会社 アワズデンタル



お祝いの言葉

熊本商科大学教授
有 田 一 郎

月日のたつのは早いもので新産都市問題を政府が手がけた37・38年に八代の若い実業家の人達が奮起し、市の行政、経済界に対する提言、忠告を目的として結成されたサークルがいまや立派な八代市における有力な経済団体にまで育成されてきました。八代市における地域開発の最も先端を担う公認団体としての役割を持っております。

現代では農工を含めた技術の進歩は20年前に比較しますとその速度は速く、消費者の消費意欲は高消費時代における特異な選択の目を持つにいたりました。今後、電子光学、遺伝子産業などの多様に分化した先端産業はいまのところ止まるところを知りませんし、消費者の情報にたいする反応は著しく敏感になりました。80年代のこの永い不況を打開する課題を私達は受持っております。

また、八代市はいまのところ開発進行中の都市でありますし、大勢として県北に遅れていることは見逃せません。これは、全九州における交通体系の整備がまだ完成していないことにもありますが、八代市の域内交通の整備もまだ進

行中であり、
これらを一刻
も早く完成し、
域内空間の利
用度を高め、
外港などを含
めた土地利用
の推進を実業

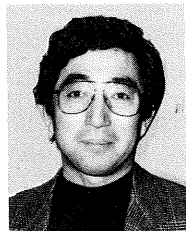
界の人々の手によって努力すべきではないでしょうか。

創立20年を期して従来のような個別的な推進団体である同友会から広範囲な展望を持つヴィジョン作りの指導団体として脱皮すべきではないでしょうか。そのため、

① 今後の生存の鍵をにぎるのは頭脳産業であるから、地域発展のために地道ではあるけれども、人的資源を養成しその定着を図る大学の創設が必要でありましょう。市政もこれについては充分了解されているが、経済人の努力が不可欠のものです。

② 交通体系の変革は都市の脱皮を促進するが、頭脳の定着は都市の格を浮揚せしめます。しかも、今後はますます、政治と経済との密着が要求されるので、経済人の行動力と自覚と責任と自助努力が必要となるのではないのでしょうか。

このような都市の大転換期にあたって八代経済界の若きプリンス達の勉強と行動力を期待します。自助努力こそあらゆる外部の援助を誘発する源となるのではないのでしょうか。



八代市建馬町3-1

(株) 飯 田 工 業 所



菓 舗

彦 一 本 舗

ごあいさつ

代表幹事
深 水 毅 一

八代経済同友会は本年20周年を迎える事が出来まして会員の皆様方と共に御同慶に存ずる次第でございます。

20年前地域開発研究会として発足され今日に至った訳でございますが、現在籍会員数111名にも上って居ります事は歴代の代表幹事の方々の並々な御努力と指導力・並びに会員一人一人の方々が目的の為に自己を捨てての御協力が有ったればこそと存ずる次第でございます。

有田先生はじめ地域行政にたずさわって居られます市、県国出先の各機関におかれましては御指導に又育成にお力添えを戴きまして有難く厚くお礼を申し上げる次第でございます。同友会の目標は県下第2の都市にふさわしい人口20万～30万の住み良い活力あふるる街造りで有ります。

新産都市指定当時は、大躍進の八代市とものではやされ、内外共に大いに期待したものでしたが国際情勢の大変化と共に高度成長より低成長の時代へと変わりその夢はかないものとなりました。

此の様な情勢の中で活力ある八代を造り上げ

るにはどうすれば良いかを真剣に見直さなければならぬ時ではないかと存じます。

企業誘致はもちろんの事です、地元企業育成、そして既存企業を街ぐるみで愛し育てていく、その様な温かい街造りに市民運動が盛上った時こそ私共の悲願が稔る時ではないでしょうか。温かい家には人が集まる様に温かい街には国内はもちろんの事、国外からも企業が集まって来る、人が集まって来る。地元企業もどんどん延びていくで有ろうと考える時その夢は大いに拡がって参ります。

八代宮御堀の白鳥・古麓の遊歩道建設・球磨川河川敷運動公園設置・くま川祭り見直し等々、同友会の提言を汲上げていただいた市ご当局に感謝申し上げます。八代を良くするには自助努力はもちろん、必要欠く事は出来ない、一生懸命やらねばなりません、どうしても県・国の力添えなくしてはかなわない事で、そのパイプをより強化し推進して行かねばならないと考える次第でございます。

同友会は、日本一温かい街づくりを目指して頑張って参ります。何卒県市ご当局の皆様、今後共温かい御指導と御鞭撻、御協力を切にお願い申し上げます。



ご家庭に夢と幸せを運ぶ店

～家庭電化製品～
～オーディオ&レコード～

合資会社 石田電気店



信 頼 の 食 品 流 通 !!
「食肉のドライカチワリ氷」

食品卸問屋

南九州ブローラー株式会社

創立20周年記念行事

(1) 記念式典

と き 昭和58年9月17日(土)

ところ ホテル サンルート八代

開 会 13時30分

- | | |
|------------|--|
| 1.開会のことば | 2.来賓紹介 |
| 3.歓迎のことば | 4.物故者追悼 |
| 5.20年の回顧 | 6.記念事業報告 |
| 7.記念事業目録贈呈 | |
| 8.来賓祝辞 | 衆議院議員 坂田道太殿
参議院議員 沢田一精殿
熊本県知事 細川護熙殿
八代市長 岩尾 豊殿
八代商工会議所会頭 吉永 優殿
熊本商大教授 有田一郎殿 |
| 9.祝電披露 | 10.閉会のことば |
| 11.祝 宴 | |

(2) 記念講演会

と き：昭和58年9月26日(月曜)

午後6時30分から8時30分

ところ：八代市 厚生会館

入場料：無料(入場整理券発行)

講 師：藤本義一氏 演題「人間を考える」

(3) 記念企画

夏の市民の花に“サルビア”を

創立20周年の記念事業の一つとして、八代の夏から秋にかけて、美しい鮮紅色の花を咲かせサルビアを、市内に広く植えていただくことを計画しました。同友会では特別企画委員会(委員長鳥巣観吉会員)で調査と検討を行ない、常任幹事会でこの計画を決定致しました。この事業を決めるにあたっては、花づくりの名人として知られる西崎友則さんと、市の公園で花の管理を担当されている田辺義一さんのご意見も参考にさせていただきました。八代の夏に最も適しており、育ちやすく、花期も長いサルビアは“夏の八代市民の花”として一番ふさわしい草花と考えております。数多いサルビアの品種の中から1種を厳選し、その種子3ℓ(16万5,000円相当)を市と(市の公共施設用)と西崎さん(一般市民配布用)に贈呈して、来年夏の開花に間に合せていただくよう願いました。

地域開発研究会 時代を顧みて (昭和38年～昭和44年5月)

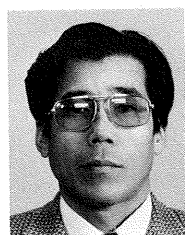
初代代表幹事
上 村 寿之助

八代経済同友会の前身である八代地域開発研究会が設立されて(八代市産業開発研究会が併設されていましたが)もう20年になりますねえ。

30～40歳代の若さ溢れる?同志17名が昭和38年9月森本逸夫氏(当時八代市開発課長)の肝入りで会を結成し、県南の雄都八代市を更に大きく飛躍させるべく、旁々自己研修の場を拡げて来た訳ですが、20年と云う永い年月の間には色んな事がありましたねえ。不肖、選ばれて初代表幹事に就任致しましたが、重任期間共約2年間、たゞ無我夢中で走ったと云う記憶だけが頭に残っています。やっと次の和田正幸氏(現八代ロイヤルホテル社長)にバトンタッチして、何とか人心地がついた様な気がしたのですが、その後、富田振作氏、徳住正吉氏の各代表幹事が夫々会の発展の為に尽瘁せられ、為に八代市のみならず、熊本県内に広く八代地域開発研究会の名を拡め、有識者の注目を集める処となった次第です。そして徳住代表幹事の時、谷口勝利氏が代表幹事を務める八代市産業開発研究会と合併し、八代経済同友会の名称が誕生した訳です。発足時の会規約には年齢制限があって、会員は満50歳に達した時点で自然退会となる仕組みであったのが、私共年長者がその定年に

近付く度に規約が改正され、遂に63歳の今日迄在籍して、若い方達の足手纏いになっているのが我ながら何とも可笑しく、時折苦笑している此頃なのです。永い間には色々と思い出になる出来事があって御紹介し度い事も多いのですが、その中の一つだけ。大分昔の事なので正確な時期が思い出せませんが、八代駅から出町への道路、大手町に球磨川駅への引込線と交差する踏切りがありますねあの踏切りの信号灯をつけて貰った時の事です。当時は駅から中心部への道路は大手町通りがメインで車の通行量も大変多かった。あの踏切りで一旦停車をする為に、一帯が交通渋滞を来たし、大変な不便さでした。大きな事許り考えずに、小さな事でもひとつ、市民の皆さんに喜んで頂ける様な事をやってみようじゃないか、と云う事で、第一高校の生徒さんに交通量の調査をして貰ったり、市役所・鉄道関係・警察署等陳情を重ね、寄付を募り、かなりの期間と資金を要してやっと完成させたのですが、小さな仕事ではあったものの、成就感に胸の膨らむ思いをした事が、まざまざと思い出される訳です。タクシーに乗ってあの踏切りを通る時に、そしらぬ顔で運転手さんに「信号灯の付いたけん、ようになったなあ!」と語り掛けると、大抵「ほんなこてようになったですよ。国鉄もときどき味なこつばやりますなあ」と云って答が返って来て、私をニンマリさせて呉れたものです。

皆さんが喜ぶ事をするのは矢張りいゝ事です。これからも頑張ろうじゃありませんか。



厨房設備設計製作施工
外壁・メース・施行販売
*アサヒスレート特約店
三菱スレート特約店
一般建築資材販売

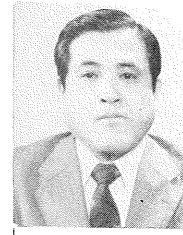
有限 岩崎実業



心にこもる食品を食卓へ

いわむらグループエイトプラザ

——関連企業——
株式会社 いわむらスーパー
(株)岩村石油
(株)できたてや
(株)フレッシュアンドフレッシュ



誠実と信用おける技術の
総合建設業

西田工業株式会社



上原税理士事務所

税理士 上原 貞夫

両研究会の合同

昭和43年度代表幹事
谷口勝利

地域開発研究会と産業開発研究会は、目的がほとんど同じであったため、昭和38年の発足当時から合同の話が出ておりました。しかし、双方の特色を生かして発展させ、その後がよいという意見もあって、約5年を経過しました。両会とも専任の事務局職員がいないため、事務を応援してもらっている皆さんの苦労も多く、それに運営が軌道に乗るとともに行事も多くなりました。大同団結して、地域開発推進のため、強力な経済団体をつくるべきであるとの会員間の意見が活発になったのは、昭和43年の秋からでした。

私の所属していた産業開発研究会でも、この声が高まり、43年11月の総会でも会員の意見が出ました。合同の例会もたびたび開かれ、会員の気心もお互いによくわかっており、何の障害もありませんでした。当時の地域開発は合同に熱心だった徳住正吉さんが代表幹事で、産業開発は私でした。徳住さんから私に打診があって、44年の2月4日に産業開発の幹事会を開きました。地域開発も2月7日に幹事会が招集され、それぞれの幹事会で両研究会の合同をすすめる

ことを確認し、交渉委員を選びました。

第1回の代表者会議は2月17日午後6時から厚生会館の集客室で開かれ、双方の会員の総意をまとめ、すみやかに合同を実現することを確認しました。交渉委員は次の方々でした。（敬称略）

地域：徳住正吉・上村寿之助・鳥巢観吉・飯田忠一郎 産業：谷口勝利・石田徹・徳田義雄・古島健一・田中（現在退会）

会議の司会進行は、森本逸夫事務局長がすべて担当し、運動方針、規約のとりまとめにあたりました。地域開発は3月6日の幹事会、3月14日の例会で、産業開発は2月25日の例会で交渉経過を報告、合同についての交渉と手続きを交渉委員に一任することが決定しました。

3月20日、4月4日の2回の代表者会議で団体の名称を八代経済開発同友会とすることが決まり、規約の原案もまとめられました。4月23日に厚生会館で地域開発が、4月19日に産業開発が日奈久柳泉荘で臨時総会を開き、両研究会の合同と合同後の規約案を承認、5月16日の午後5時30分から厚生会館の大集会室で八代経済開発同友会の創立総会が開催され、現在の同友会がスタートしました。

記念事業として、細川隆元氏の公開講演会を5月22日の午後6時30分から厚生会館ホールで開催しましたが、満員の盛況でした。

同友会の初代の代表幹事には徳住さんが、副代表幹事に鳥巢観吉さんと私が選ばれました。

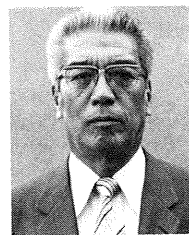
昭和44年度事業報告

昭和44年度代表幹事
徳住正吉

八代地域開発研究会の発足が、昭和38年9月となっているので、今年で20周年を迎える事になる。10年1昔と云うからふた昔、今昔の感に堪えない。発足当時の会員数も17名、何かと話をするのにも都合がいゝ人数ではあったが、会の目的に向って大きく前進すると云う訳には程遠い活動だったようである。

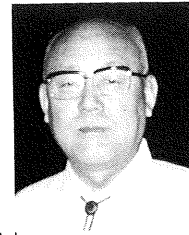
私事で申し訳ないが、当時40歳で青年会議所を追いつかれて、心のより所と云うか、話し合いの場を見失った様で、それを探していたのがたまたま話が弾んで、作ろうではないか！やってみよう云う事になって誕生した様な記憶がある。自分達の会だと云う意識に燃えて、会則もなるべく簡単に作ったものである。会則の中に定年制がある。満50歳未満にした。私達も若かったし、又男性の寿命が74歳になる等とは思ってもしなかった時代である。私の代表幹事の就任が昭和43年であるが、地域開発研究会も目出度く5周年を迎える事が出来たので、記念行事に文化講演会を開催することにした。故人になられました島原のオロロン、オロロンの宮崎康平氏を講師としてお招きしましたが、仲々盛大

で成功だったと思っております。その時の挨拶で私は……扱、八代地域開発研究会は、その名の示す通り八代地方の産業経済発展を図り、住み良い地域作りと、現在の高度成長を続ける我が国の経済に対して地方小都市はどうしても遅れ勝ちで、ついて行けない点が多く、此れらの問題を個々の企業の問題とせず、夫々の会員の考え方を纏め経済界に、又は政治の問題として解決すべき点は、その機関に推進母体となってよりよい八代の建設を行う事を目的に発足したのでありますが、発足当時、丁度新産業都市華やかな時期で、県に対しても一つのパイプとして、我々の努力を続けた次第です。その後新産都市の問題も、何時の間にか尻つぼみになりまして、この問題については不満足な結果になりましたが、我々としてはそんな政治の問題に振り廻される事なく、住み良い我々の街作りの為に今後の方針を立てている次第です……云々、当時八代地域開発研究会と八代産業開発研究会との合同問題が提案され、何回も協議し、昭和44年4月臨時総会に於て満場一致で可決され、無事八代経済同友会の誕生を見た訳であります。その後、創立総会を昭和44年5月16日に厚生会館で開催、新しい団体の誕生記念に当り、細川隆元先生をお招きして記念講演会を開催しました。短い在任期間ではありましたが、自分なりに充実した活動を行って来たと思っておりますが、ふと振り返って、果して地域経済に対する役割はどの程度果たしたか云う事については、甚だ遺憾な点が多かった事を反省しています。



おみそも しょうゆも
マルジュ!!

上村醸造株式会社



省エネルギーから活エネルギーへ

熱絶縁工事設計施工

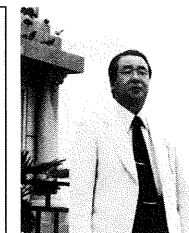
報 国 工 業 株 式 会 社
九州エネルギーエンジニアリング(株)



あなたの健康相談所として
お気軽に御利用下さいませ

くすりは皆様の御健康に奉仕する

うちだニコニコ堂



ファッションに情熱を
プラスしてご奉仕する

合資会社 つ る や

昭和45年度事業報告

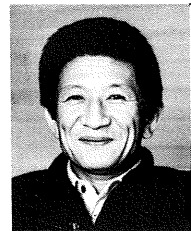
昭和45年度常任幹事
古 島 健 一

昭和45年5月1日現在の会員総数は59名であったが、13年後のことしの9月1日まで、引き続き在籍している人は25名である。

代表幹事が緒方基一さんで、私は出席副委員長であった。この年の例会は、正午開会、午後1時30分閉会を原則とした。例会場は八代大洋の6階食堂で、総会も同じ場所を使用した。

幹事会、例会、委員会の報告、入退会者、陳情、県外研修の報告のほか、会の動きを詳細にまとめ、会報として配布された。会報はすべて活版印刷で、創立から今日までこんなに立派な会報は見たことがない。12回発行された。このほかに、例会通知、例会資料と各種資料がひんぱんに配布された。

観光委員長の飯田圭蔵さんの提案で、会としては2回目の宇部常盤公園の視察が行われた。4月25日、26日の2日間にわたって、13名が参加した。現在の会員で参加したのは、水洗十三郎、島興人、森本逸夫、徳田義雄の4氏で、青年会議所から松本(欣)、豊田(宏)の正副理事長が同行した。この視察のあと、これも飯田圭蔵さんの提案で、同友会が常盤公園から白鳥一



八代市新港町2丁目2-4

(株)朝日防火板工業所



番を購入して、市へ贈呈した。10月9日午前11時から、八代宮の濠端で贈呈式があった。濠の白鳥を見るたびに、八代の観光振興に熱心だった飯田さんを思い出している。

河端脩副知事を例会講師にお願いしたのは、2月26日だった。岩尾市長も同席され、副知事の話のあと、各会員から要望・意見が述べられた。◎徳田義雄商業委員長＝商業振興についての県の助成について、工業専門学校の誘致について、貨物駅の移転について◎飯田圭蔵観光委員長＝県の観光宣伝をもっと積極的に、観光振興のために道路交通の整備を早急に◎飯田忠一郎工業委員長＝不知火干拓の締切地点と八代経済への影響について、その他数人から要望があった。

5月25日に沢田一精参議が「日本経済の現況と将来」のテーマで、例会講演をされた。岩尾市長も同席され、話のあと約30分にわたって、活潑な質疑があった。沢田参議は最近まで、大蔵政務次官であったので、物価、賃金、公定歩合、円の切り上げ問題、国際価格など当面の日本経済について専門的な講演があった。

7月13日の午後3時から、運輸省八代港工事事務所のご協力で、海上から外港の視察をした。工事事務所から船を提供してもらって、1万5千トン岸壁、-10メートル航路の工事現場を久保所長のご案内で見て回った。そのあと久保所長から工事事務所で八代港の説明を聞き、午後6時から課長以上の皆さんと、来民屋で懇親会を開いた。前後するが、6月4日に県の高見秀久商工水産部次長(工鉦課長の経験が長かった)を講師に、「企業誘致の現況」をテーマに例会を開いた。講話のあと、会員の企業を見てもらうことになり、朝日防火板、城南鉄工所、飯田工業所を視察された。5時から高見次長を囲んで、懇親会を開いた。

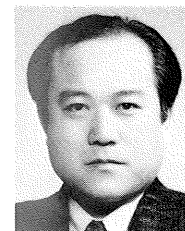
毎月2回平均の会合であったが、活気に満ちた例会が続いた。

昭和46年度事業報告

昭和46年度副代表幹事
水 洗 十三郎

昭和46年度の一番大きな出来事は事務所の開設と事務局員の採用であった。これは当会発足前の地域開発・産業開発両研究会時代はもとより、八代経済開発同友会発足後でも一番悩んでいた問題でもあったので、一挙に不便が解消された感があった。これには商工会館の主、吉永優商工会議所会頭の大きな理解があってこそ出来た事であったが、我々同友会に対する大きな期待もその大きな要因とされた事は1月9日の事務所開きの際の吉永会頭のご挨拶にも述べられたところである。又美人で若々しい伊藤紀子さんが事務所開設に先立って1月1日付で採用された事は、それまでむさ苦しい男子丈の会合にパット明るい光を投じたものとして、会の運営に大きな功績があったものである。(3月末電話開設)この様に昭和46年度の大きな特色は、会務の円滑化が大きく進んだ事であった。

それまでは、当時八代市役所におられた森本逸夫氏に甘え、おんぶされた形で会務を取りしきってきたものであったが、事務所の設置は会がもう一つ大きくなる為に必要欠かすことの出来ない事であったし、省みると会務に一つのエポックを作ったことは否めない事実であった。



八代市本町1丁目4-12

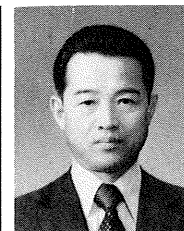
(有)新大阪屋



事務所開設に伴い会務も盛大となり当時殆ど開かれていなかった幹事会等も毎月定例的に開かれるようになり、当時は会員が少なかったせいもあり(年度で64名)、大半の例会も事務局で開催することにもなった。

この年は統一選挙が行なわれた年でもあり、沢田一精新知事が誕生。当会としても2月1日、開票の翌日に代表幹事他数名の者が熊本までお祝いにまかり出、さがって3月11日には新知事を囲む会を開催したものであった。尚、八代市長岩尾豊氏はこの時再選を果され、5月6日に同市長を囲んだ会を開催した事も忘れられない事である。この他多くのゲストをお招きした例会が毎月2回の割合で開会されたが、八代中学ご出身の内田健三氏(当時共同通信政治部長)を初めて郷土にお迎えしたこと、一般に関心の薄かった防衛問題をこれ又初めて取りあげ、熊本より第八特科連隊長森田橘郎一佐をお迎えしたこと、天野広行熊日論説委員をお迎えして熊本県の中での八代の位置付けを試みたことなども忘れられない出来事であった。

十年一昔の喻え通り、十二年前の出来事は夢幻にも思え感慨無量なものがあります。しかし、今日尚発展を続ける当会の成長振りをみますと誠に心強い限りで、今後益々の進展をお祈り致す次第でございます。



地域で愛される
お酒の総元締
郷土の愛飲家のニーズに
こたえる専門店

全酒類卸問屋

合名会社 岡本本店



昭和47年度事業報告

昭和47年度代表幹事
古 関 雄 幸

本年度より本会の名称を「八代経済同友会」に改められ、会員67名でスタートした。

◎運動方針

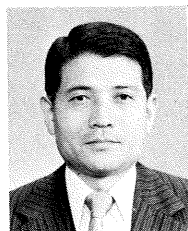
(1) 委員会は①経営研究（豊田剛委員長）・②商業（正木正八郎委員長）・③工業（沼田一光委員長熊本転出の為田中敬蔵委員長）・④地域開発（藤本正雄委員長）・⑤観光開発（徳田義雄委員長）・⑥日奈久開発（白石昭三郎委員長逝去に付森精一委員長）の六部門が設置され、古島副代表幹事が①②を、和久田副代表幹事が③④を、島副代表幹事が⑤⑥の部門を夫々担当して貰うこと。

◎重点目標

- ①現在の経済情勢に対応する経済・労務・金融問題についての調査研究
- ②商店街再開発 ③工場誘致の推進
- ④新しい交通体系の確立 ⑤東部山麓の開発
- ⑥日奈久地区の総合開発

◎例会講師

- 1 衆議院議員 坂田道太氏 2 朝日新聞社萩野義夫氏 3 共同通信社編集局次長 内田健三氏
- 4 熊本鉄道管理局長 田中利男氏



八代市通町11-2

(資) 緒 方 印 刷 所



- 5 県有明地域開発局長 松永 徹氏
- 6 県観光課長 樋口清一氏
- 7 県交通計画課長 竹下 徹氏
- 8 県八代事務所長 宮本 懿氏
- 9 県工鉱課長 原田十志雄氏
- 10 大昭和製紙開発部長
- 11 八代警察署外勤交通課長 高木 学氏
- 12 建設省熊本工事事務所長 高橋健二氏
- 13 県広報外事課長 八浪道雄氏

◎陳 情

- ① 4月12日八代警察署を通じて、横手踏切信号機の設置について陳情
- ② 同日、県八代土木事務所へ東幹線工事促進並びに植柳橋側道橋の設置について
- ③ 5月26日熊本鉄道管理局長へ、新幹線八代駅と東幹線踏切について
- ④ 8月28日建設省へ日奈久バイパスの促進
- ⑤ 9月19日市へ東部山麓の開発について

◎其他主な行事

- ① 9月10～12日研修旅行、姫路・相生・岡山・三原・岩国の5市を新幹線中心に視察
- ② 9月22日、船上観月会（五橋廻り）
- ③ ゴルフコンペ、2月18日他5回
- ④ 5月7日釣り大会・8月20日鯛釣り大会
- ⑤ 4月16日一葉会4周年記念茶会
- ⑥ 11月9日、茶道研究会
- ⑦ 5月15日、ソフトボール大会
- ⑧ 6月13日、バレーボール大会



八代市渡町1289番地の1

合資会社 辻 本 建 設



昭和48年度事業報告

昭和48年度代表幹事
古 関 雄 幸

本年度活動方針

- ① 地域開発の着眼点・問題点把握の為、講師を招いて月例研究会及び視察旅行の実施。
- ② 行政面へのパイプの役割を果たす為に、国・県の機関及び市と密接な連絡を保ち、訪問・陳情並びに意見交換を行う。

重点目標

- ① 東部山麓地帯の開発促進
- ② 日奈久バイパス道路の建設促進
- ③ 新幹線の八代駅停車の誘致
- ④ 現八代駅前の再開発
- ⑤ 東幹線道路の工事促進
- ⑥ 臨海地区に工業誘致促進

創立10周年記念の事業計画

- ① 公開講演会開催
- ② 東部山麓地帯の開発調査費寄贈
- ③ 研修旅行の実施（重点目標関連の視察）

例会講師

- 1 熊鉄局長 大石文雄氏 2 大昭和製紙
- 3 県知事沢田一精氏 4 朝日新聞松野谷夫氏
- 5 参議院議員 細川護熙氏 6 自衛隊第8特科連隊長
- 7 熊大教授堀一夫氏 8 県観光課



銘木・一般建築材・梱包材

合名会社 鬼塚木材商店



- 長樋口清一氏 9 八代職業安定所
- 10 県公害規制課長毛利邦郎氏
- 11 宮崎県観光課長川越孝博氏
- 12 市都市計画課長

陳 情

- ① 1月29日市へ、東幹線促進、東部山麓、日奈久バイパス、工場誘致、新幹線駅、駅前再開発について陳情
- ② 5月10日県へ、上記項目について陳情
- ③ 10月11日知事を囲む会にて陳情
イ 新幹線駅と駅前再開発 ロ 八代臨港線
ハ 東幹線 ニ 熊本～八代間国道の4車線
拡幅 ホ 県立工高に土木科・建築科の新設
- ④ 12月19日新幹線八代駅停車について関係先へ陳情書発送

主な行事

- ① 11月9日、創立10周年記念公開講演会
経済評論家 三鬼陽之助氏
- ② 7月13～16日視察旅行、倉敷・福山・宇部商店街振興・駅前開発・公園緑地について
- ③ 4月22日、創立10周年記念茶会
細川護熙参議院御夫妻を招き松浜軒にて開催
- ④ 7月1日、タイ釣り大会
- ⑤ 9月11日、船上観月会（五橋廻り）
- ⑥ 12月18日、創立10周年記念並びに「九州新幹線の八代停車を実現しよう」の提言と共に、会員の協力で熊日に一頁広告を行う。



八代市古城町2245-2

(有) 八 代 翠 松 園



昭和49年度事業報告

昭和49年度常任幹事
有馬重雄

1月12日に会議所ホールで、熊日の緑のリボン賞を受賞した徳田義雄君の祝賀会を同友会の主催で実施した。加藤丈直君の司会で、各界から150名の出席があり盛会であった。

例会は1月から11月までに15回、それに例会扱いとして全会員を対象にした委員会を2回開催した。建設省の都市局と運輸省八代工事事務所長を委員会のゲストに迎えた。例会は実質17回開いたことになる。1月の例会に毎日新聞東京本社西和夫経済部長を招き、公開の例会とした。テーマが「石油危機と日本経済」で、当時市民に最も関心があった問題であったので、200名をこえる聴講者があり、会場整理に苦労した。

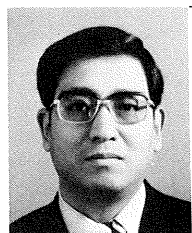
県外視察は7月18日から3日間、全国的に評判になっていた岡崎市と桑名市の都市再開発事業を視察した。視察の報告が市内に拡がって、本町一丁目と二丁目の振興組合がそれぞれ両市を視察され、商店街の再開発研究の糸口を開く結果となった。(9名参加) 11月12日に長洲町役場と日立造船所を視察した。中逸町長から造船所の受け入れ態勢について話を聞き、造船所の総務部長の案内で工場を視察した。同造船所は

八代進出の予定が地盤が悪かったので、長洲町に変ったと説明があった。(11名参加)

都市開発委員長が古閑雄幸、副が島興人の両氏で、東部山麓開発や新幹線促進に積極的に取り組んだ。前年県に陳情していた新幹線促進の件で1月県議会の交通通信特別委員会に呼ばれ、当会から3人が出席し、意見を述べた。4月に山下寅男県交通計画課長から新幹線問題について県の運動の説明を、5月に熊鉄管理局の滝上正義企画室長を招き新幹線建設の現況と見通しを聞いた。懸案の東部山麓開発調査のため、5月現地を視察した。豊田剛代表幹事、都市開発の正副委員長をはじめ会員8名、それに事務局、会員の家族も参加して、15名で山上まで登った。同じ月に市から東部山麓開発の基本計画を委嘱されている熊工大の野田洋講師を招き例会を開いた。

県から講師に益子孝介労政課長(3月)、桶口清一観光課長(4月)、原田十志雄工鉱課長(8月)、を招いた。10月の例会で、岩尾市長に新幹線・東部山麓開発・駅前再開発・東幹線・日奈久バイパスなど都市開発の諸問題を陳情した。

5月に芦北町でキス釣り大会、9月に旅客船を借り上げて天草五橋で観月会、10月に同友会の会員で組織する一葉会の秋季茶会を松浜軒で開催した。茶会は細川護熙氏を主賓に、会員15名、一般から400名の参加があり当年度最大の行事となった。経友会のゴルフコンペで、古島健一君が優勝した。(10月)



菓舗 彦一本舗
八代の銘菓とフレッシュ洋菓子

株式会社 彦一製菓



八代市通町10-57

(有) 神園タクシー

昭和50年度事業報告

昭和50年度副代表幹事
飯田忠一郎

この年50年は、石油ショックによる後遺症で、「不況」、「インフレ」、「国際収支悪化」と世界経済は、三重苦にあえいでいましたし、現実の私達の企業経営も、非常に変化のはげしい、全く先行き不透明な中で、新しい発想を求めて生き残る為の挑戦をはじめた年でした。

この年本会の行事の最大ポイントは、「市会議員の定数削減及び職員数の削減合理化」の提案でした。今でこそ行政改革は国の政策の中心課題ですが、その頃地方財政の硬直化を心配し、真の行政サービスの向上を提案したのは本会の良識と先見性でした。

結果は実りませんでした。市民による政治の改革という、意識向上の糸口になったのは確かです。提案の根底には、興人倒産等に代表されるように不況にあえぐ我々中小企業経営者の悲痛な悩みと訴えがあったのです。

次に東部山麓の観光開発「正式には古麓歴史自然公園」が実現したことです。

これは本会が47年9月に市長に要望したものが、総工費4,000万円で完成し、単年度の公園事業としては、市はじまって以来の大事業でし

た。これも糸口は本会が計画作成費の一部として、10万円を市に寄付したのが次の大きな展開につながったものです。

次に、訪中使節団が実現し本会から4名の方(深水・和久田・飯田(侑)・藤元の各氏)が参加されました。これは当時の沢田知事を団長として、中国と友好をということで、実現したもので、その後の中国ブームの切っ掛けになったし、遠くて広大な中国が近くて広大な中国として、その後の両国の関係は大きく進展したのです。次にこの年、天草経済同友会が本渡で創立されました。

これは本会の経過も参考とされ、天草にも地域の産業、文化を考える経済団体が発足したのです。



総合建設業
建設大臣許可(特58)
第4386号
一級建築士設計事務所
県知事登録 第323号

夢のある未来を築く

株式会社 大同組



古くて新しい
青年酒屋

お酒の 木屋

昭和51年度事業報告

昭和51年度代表幹事
藤 本 正 雄

昭和51年と言う年は日本経済がオイルショックからいくらか立直り、低成長経済に転換した時期であった。会員の皆さんも経済への関心が非常に高かった。従って常任幹事会・例会・委員会その他の行事が数多く開催され多数の出席者があった。

1月5日常任幹事会、1月18日幹事会、引続いて定期総会を満潮で開き事業計画と予算を決定した。1月26日の第1回例会には西日本新聞の益田解説委員長を平安閣に招き「新年の政治・経済の展望」と題して講演を行った。2月4日に常任理事会、2月6・7日に天草カントリークラブでゴルフ大会が開催された。2月17日例会には「都市開発と商業」と題し井葉野氏から話があり、2月24日の例会には県教育長の林田氏より「当面の教育行政」について講演があった。

3月13日には訪中使節団の報告会と岩尾市長に対し公共下水道等の陳情があった。3月22日の例会には熊本経済同友会から木下嵩氏を招き「熊本の経済」について話があった。3月25日には都市開発委員会、4月9日には商業委員会が夫々開かれた。4月26日例会には「県の商工

行政」について県の奥野商工労働水産部長の講演があった。

5月22日23日は宮崎、都城市視察の研修旅行があり、6月8日には大岳地熱発電所の見学が実施され、6月17日には球磨カントリークラブでゴルフ大会が行われた。

7月16日には八代警察署長の松岡氏より「市内中心部の交通規制」について説明があり、7月17日には実業クラブ基会が開催された。7月23日には例会として河村英夫氏を招き「危ない会社にならないために」と題し講演を行った。8月19日の例会には肥後銀行の長野常務から「熊本の経済」について話があり、8月26日の例会には「安全保障から見た世界と日本」と題し防大校長の猪木氏の講演があり、9月17日の例会としては「八代港の現況と将来」について運輸省八代港工事々務所の上村正明氏の話があった。

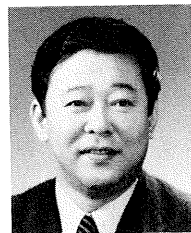
10月7日の例会には「県の工業振興計画」について県の鉱工課長の深田氏の講演会が開かれた。更に10月9日は此の度防衛庁長官になられた坂田道太氏が最近の防衛問題についての講演があり、多数の出席者があった。

11月1日の例会には「球磨川改修の現況と今後の見通し」について建設省八代工事々務所長若松氏より説明があり、特に氏が渡町河川敷の運動公園設立に尽力された事に感謝した。11月8日の例会には「大型店進出とその対策について」奥住氏の講演を最後に昭和51年度の主な行事は終了した。



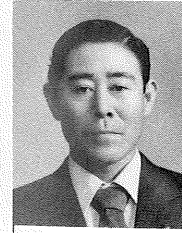
親切・丁寧
今日も一日安全運転

有限会社 観光タクシー



お酒とウイスキーの

木 村 商 店



あなたに夢をうる

株式会社 木村不動産



誠意と技術で未来を築く

総 合 建 設 業

木村建設株式会社

昭和52年度事業報告

昭和52年度代表幹事
宮 崎 典 三

景気回復の伸び悩みと、先行き不安の深い霧の中で迎えた私の年度は、「厳しい」と言う言葉の通り、中央・地方を問わず重大な転機に立っていた。此の様な年は自分の事業を見直すチャンスであると思い、私は年度のスローガンを「地域開発と自己努力」と掲げて出発した。

先ず地域開発であるが、私が提唱したのは人間的地域開発である。之は換言すれば、豊かな郷土作りであり、老人も若人も共に暮せる社会を作ることである。その中で私は年頭初、次のことを要望した。即ち野上地区堤防を西へ延長する前川堤防の早期実現、市中心部の交通体系の見直し、八代を訪れる人を惹きつける観光・文化面の検討などであった。特に重点をおいた前川右岸堤防の改修工事は、建設省の若松工事々務所長をたびたび例会講師にお招きして説明してもらい、九州地建にも陳情を重ねた。家屋移転に側面から協力する約束で（実際に約束どおり協力した）、予算がつき、着工になったときは嬉しかった。完成した堤防を見るたびに、建設省の誠意のある対応に感謝している。

次に経済人として自己努力については、満ち

たりた環境に身をおき安易感に浸ることによって向上心を失いがちになることを戒め、常に意欲的に新しいものを追い求め不断に努力しようと呼びかけた。又、企業として今後進むべき方向は、低成長経済に耐え、且つ順応しながら競争に打勝つ体質を作ること、即ち質的転換が不可欠であると共に夫々の仕事に責任を持ち、その仕事についてのプロになることを希望した。

実施した事業もその内容にバラエティーを持たせただけでなく、一つの問題提起を深く掘りさげて研究し、地域に、会員の事業に夫々マッチしたものになる様工夫した。経営のベテランを迎えての講演会、地元商店街と地域開発の問題、玄海唐津発電所見学と先進地視察等を行うと共に、会員の親睦を図るレクリエーションの開催など、すべての事業が会員の協力によって順調に消化された。年末には会報の創刊号を「九州自動車道特集」として発行することが出来た。八代インターのオープンとは昭和55年3月であるから、その約2年半前の座談会の記事が載っている。それから3年半経った現在の状況と比較して読み直すこともいゝだろう。

八代経済同友会も満20周年を迎え一つの区切りに到達したが、此の間私共に寄せられた地域の期待は大きいものがあった。私たちには若さがある。若さの力と魅力は無限である。これまでに築き上げられた輝かしい実績を更に立派なものにして行く努力が要求されるのではなかろうか。

昭和53年度事業報告 (一つの出会い)

昭和53年度代表幹事
森 精 一

地域開発研究会・産業開発研究会が発足してから、現在の八代経済同友会の姿に発展的に統合し、地域経済の浮揚のために地道な努力をつみあげて来て、今年で20周年を迎える事になりました。会員、諸先輩、ご指導・ご協力下さいました諸先生方に心からお礼の言葉を申し上げ、20周年を共に慶びたいと思います。

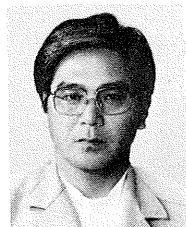
歴代の代表幹事が八代の経済、産業・交通・文化についていろいろの角度からとり組んで来られ、時機に即した事業を行って来られました。私はその基本的なものはそのまま踏襲し、初にかえって、熊本県の第二の都市としての八代はどうあるべきかを八代経済同友会の目で探してみたいと思って、事業計画を立ててみました。しかし都市も経済もそれを支えている人の考えも常に動いているものであり、1年や2年で納得のゆく事業が出来るわけではなく、自分の非力を感じたものです。

しかし乍ら、この会を通じて出会った沢山の友人と、例会・親睦会・ゴルフの会等でコミュニケーションを交す事で大変楽しい思いをしたり、いろんな事を学ばせて貰った事は何よりも

貴重なことであり、これからもこの出会いを大事に育ててゆきたいと思っています。

事業

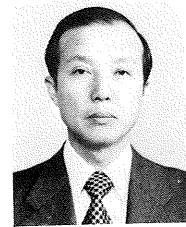
- 1月 53年の景気見通しと打つべき手
田辺経営西部本部 竹原義郎氏
- 2月 これからの経済流通の価値観 中九短大
木下武人氏。 政治から見た最近の
経済情勢 読売新聞社論説委員 田村
祐造氏
- 3月6日 熊本県八代事務所との懇談会 玉林
庵 都市開発問題を中心にして
- 4月13日 ユニオンビルの計画について 沢田
利男 商工会館 4月27日 県行政の
諸問題について 副知事 藤本伸哉氏
- 5月 県の商工業振興対策説明会 4団体で
内藤省治 商工労働水産部長
- 6月 「地域に根ざす商業」 黒須靖之
- 7月 「最近の経済情勢から」
朝日新聞 栗田康雄
- 7月 「最近の国鉄をめぐる諸問題と八代」
大澤 昂氏(熊鉄管理局長)
- 9月7日 「飲食店経営の常識と基本について」
赤土亮二 9月10日 タイ釣り大会
長島 9月24日 撮影会
- 10月 「経営者に訴える」横田辰三 平安閣
九州縦貫自動車道について 辻 忠之氏
県外研修旅行 中央高速自動車道 恵那
山トンネル 松本市・名古屋市
- 11月 沢田熊本県知事を囲む例会



総合設備業

八代市水道指定工事店
(冷暖房 給排水 ソーラーシステム)
ボイラー 浄化槽 設計・施工

(有)金剛設備工業



総合建築資材業

(常設住器展示場併設)

桑原商事株式会社

昭和54年度事業報告

昭和54年度代表幹事
田 崎 多十郎

チャーターメンバーで最後の代表幹事として指名を受けた経緯は、ある会合で初代上村寿之助代表幹事より「後進に道を譲るためにも、之の辺で責任を果す可きだ」との御叱責で柄にもなく就任した次第ですが、引受ける迄の間私なりに相当悩んだものでありました。それは返事のタイムリミットである9月21日水俣国際に於ける同友会コンペで敢斗賞(最下位)チョコレート1万枚を献上したことで、そのショックが如実に現われました。

ところが11月9日次年度役員決定の臨時総会当日の同友会では肩の荷が降りたこともあって見事に優勝したことを思えば、ゴルフが如何にメンタルなものなのかの証明にもなり象徴されます。生来無精者の私は統一地方選挙の年であり発会の主旨からして政経分離の原則を貫く意味からも4月の選挙迄は会合を忌避し、例会と常任幹事会は同友会々則の最大公約数をみす夫々月1回としたこと、初めての試みとして親睦委員会を設けたこと、幹事会は必ず酒食会としたこと等で会員同士の親睦を深めることに努めた心算が、二次会の数が増え折角盛り立て、

くれた藤元事務局長外常任幹事の皆さんに大変御迷惑をおかけしたことを反省して居ります。

例会は2月24日寿屋社長寿崎肇氏を講師に八代店オープンに因み、3月12日政治評論家三宅久之氏の内憂外患の大平内閣、3月30日日本マーケティングセンター船井幸雄社長で大型店の出店と商店の対応策-共存共栄は可能か、5月28日県企画開発部次長山下寅男氏に今後の地域開発について、6月12日奥住マネージメント研究所長奥住正道氏の中小商店と大型店との共存共栄は可能か、7月24日熊本経済同友会金竜堂書店社長樋口欣一氏より熊本市の流通業界の課題、8月1日共同通信社論説委員長内田健三氏より解散総選挙を前にした内外情勢の動き、8月23日坂田道太代議士に最近の政局の動き、10月22日日経新聞社報道部長鷲津勲氏による石油情勢の行方と経済の動向、夫々時宜に適った卓話を拝聴し盛会であった。

商業委員会で市内在住の主婦10名にお集り願って消費者モニター会議を開催したのを始め、企業経営の一端として会員(豊田・中西)によるパネルディスカッション、恒例による沖縄研修旅行、親睦委員会で代表幹事OBとの集い、訪中視察団に谷口・小笹会員の参加等がありました。会員の御協力で何とか責を果すことが出来ましたが、浅学のため最後まで原稿なしの挨拶が出来なかったことは忸怩の思いである。



「ニチイは生活を
愛と考えます」
—LOVELICATION—

株式会社 ニチイ 八代店



喜びと幸せの流通センター

世界の銘醸酒の品揃え
麒麟ビール他23社特約

全酒類卸問屋

合資会社 古閑酒店

昭和55年度事業報告

昭和55年度代表幹事
鳥 巢 観 吉

○地域開発、広報、合同委員会 国道、球磨川の改修工事（建設省八代工事事務所長永松久敏氏）高速道路の開通により車輛の通行量の増大にともない。八代インターより3号線の道路幅員の拡張、整備等を至急実行される事を要請する。地元土地所有者の協力方を要請される。

○例会（商業委員会主催） 経営セミナー（奥住マネジメント研究所長奥住正道氏）本町2丁目駐車場ホールにて一般公開セミナーを開く。奥住氏は八代には詳しく、これからのびる企業、商店街のあり方等具体的な説明があり商店街の人々より好評を博す。

○企画委員会 八代地区国鉄問題について（湯野八代駅長）特に球磨川駅移転問題について意見をきく、代替地に問題があるとの事であった。

○工業委員会 工場誘致について 商工観光について（市商工観光課長宮部義則氏）県より八代に2・3の企業進出の見通しありとの話であったが現在迄何等の成果なし、工場誘致のむずかしさを痛感する。

○例会 九州自動車道の八代への影響、市内工場の今後の見通し（熊大教授木島安史氏）高速道路の開通により商圈が拡大される為県外よ

りの大型資本の進出を招くので地元業者も対応策が必要となってくる。公害問題、工業用水等の問題があり仲々きびしいとの事。

○例会 最近の国政及び国会の動き等につき、園田清充・田代由紀男両氏より講演会を本町3丁目駐車場ホールにて開く。

○例会 1980年代の経営戦略（リコー会長三善信一氏）大局的な見地よりこれからの企業はどうあるべきかに就いて具体的に説明あり、共感を覚える。

○例会 防衛問題について（衆議院議員坂田道太氏）世界的な立場より国防問題について専門的意見を拝聴、国防のあり方に就いて色々と考えさせられる。

○例会 今年度の景気はどう動くか（東京経済大学教授富塚文太郎氏）

○例会 本田技研工業株式会社見学 大津のオートバイ工場を見学、若い人々が密度の高い仕事をしている。今の若い人が高齢化した時の仕事等に就いての工場側の意見等を聞く。

○例会 八代市の振興発展の方策について 市議会議員自民党2、社会党2、公明党1、清和会1名の出席を得、意見の交換会を行う。

○例会 講演会「人の心に花一輪」落語家桂小金治氏を招き公開講演会に卓越した話術で人情の機微にふれたすばらしい話であった。

拙い代表幹事で会員の方々には申し訳なく思っています。でも役員各位は勿論の事、会員の皆様の心温かい御友情と御協力を心から感謝申し上げます。



(株)九州オイル

☎(0965)33-4060(代)

九州環境開発(株)

☎(0965)33-2290(代)



好評

1ヶ月複利で引出自由
中期国債ファンド
年5.694%

大熊本証券 八代営業所

昭和56年度事業報告

昭和56年度代表幹事
小 笹 康 介

当時、ふる里志向の高まりとともに地方色豊かな、新しい夏の祭りが全国各地に大変盛んになって参りました。八代市民の中にも、夏の祭りを根本的に見直して、もっと盛んなものにしようという世論が高まりつゝありました。次年の「夏祭り」へ向けて、関係者の間でもその改善案がいろいろ考えられていたようです。市民の皆さん総参加のもとに、みんなが一体となって参加できる夏の祭りの実現に努力したいと思い、高知市の「よさこい祭」を視察し、又ふるさとの夏祭りのありかたなり、今後の充実、方法なりについて、日頃から祭りに興味のある若い方々に集まりを願い、忌たんのない御意見を頂きました。そして夏祭りについての提言をまとめました。感じたことは、「夏祭りの中心は若者である」ということでした。

夏祭りへの提言

新しい祭りにふさわしい名称を

八代市の史実、民話等に根ざした八代独得の名称を。

新しい祭りはお盆の直前に

郷愁をそそり帰省をうながすような祭りに

お盆の里帰りに合わせて、帰省が心楽しく待たれるような日の設定と、年に一度は八代に帰り、歌って、踊って、かつぐことを渴望されるような祭りの開発を。

明るく軽快なリズムと踊りの開発を

心が躍動し、手足が舞い、人々を誘いこまずにはおかないようなリズムと踊りの開発を。

「市民総参加」で全市挙げての祭りに

見る祭りから参加する祭りへの転換を図り、全市民の祭りに併せて、商工農政本位の祭りから全市民的観光サイドの祭りへの転換を。

企業や団体等が自ら積極的に参加する祭りに

企業単位、団体単位、学校（含OB）単位等集団で積極的に参加できる祭りに。

児童、生徒、学生、青年等若者中心の祭りに

若さと情熱を完全燃焼させ、明日への活力を培う祭りに。

自らの負担で、すすんで参加する祭りに

ハッピーその他祭りに参加するために要する経費は、自ら負担してでも参加することに意義を感じ、誇りをもてる祭りに。

夏祭りは前夜祭と花火で賑やかに開幕を

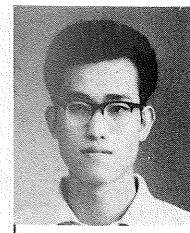
初日を前夜祭とし、前夜祭行事と花火で賑やかに開幕を。

蚊を追放して快適な祭りに

八代蚊は夏祭りの大敵、蚊の撲滅なくして夏祭りは成功しない。

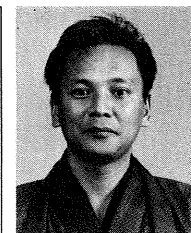
「ふるさとの祭り」をみんなで積極的に考えよう

自分たちの、自分たちによる、自分たちのための祭りとして考えよう。



八代市松江本町2-50

旭設備工業有限会社



あじなオ米

製法特許

水車米

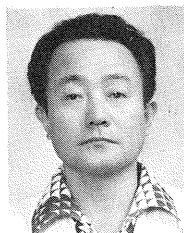
株式会社 坂本食糧

昭和57年度事業報告

昭和57年度代表幹事
島 興 人

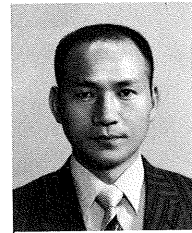
57年度は本格的な「ゼロ・サム時代」を迎えたと言われ、地方経済人として、それぞれ自分の企業の存亡を問われる厳しい時に、代表幹事の指名を受け「指名されたら拒めない慣例」に首をかしげつつ御引受けしたものの、浅学非才の私にはあまりにも重い荷でした。しかし引受けた以上「若さと行動力」で、やるしかない。ベテランの森本逸夫さん、行動力あふれる松田逸夫さん、中野進夫さんの三副代表幹事、その他役員の方々に助けられ、前年迄無かった企業誘致、農業研究、両委員会を増設。年頭の沢田知事年賀訪問早々、企業誘致を陳情。その後、県工鉦課長を招いての勉強会、さらにはYKK滝田工場長、三楽オーシャン乾工場長を囲んでの、進出企業の経過・要望などを、お聞きしたりしているうちに、県にも企業誘致課が新設される。農業研究委員会では八代は周辺の農業を切り離しては、経済を語れない、と池田市農振課長を囲み八代イ草、ハウス栽培などを研究。春には、沢田知事、岩尾市長を招いてのゴルフコンペで、和気あいあいの内に懇親。又、全国的「村おこし」ブームに乗る萩原茂裕先生を迎えて、八代市、八代青年会議所との共催で「明

日の八代を考える」シンポジウムを厚生会館で市民多数と共に開催。岩尾市長もしばし感涙の中に八代100年の大計に思いをめぐらされた。自民党市議団との懇談会では、自民党政調会、商工委員会の充実を要望。折から通産省による地域景気動向調査懇談会がもたれ八代が特定不況地域に指定されるなど不況色が強まる中で「八代経済の浮揚策は？」と、同友会、商工会議所、青年会議所の三者で、八代経済振興推進会議（八振会）を結成し三団体幹部による定例昼食会（偶数月の月初）を開き八代の経済振興を論じ合うこと数回。結論は出ずも将来への三団体共通の場が出来た。又、同友会が数年来提唱してきた市民総踊りは単なる祭りに止まらず景気浮揚につなげようと年初の熊日座談会、春の会報などで会員は勿論、各団体へ参加を呼びかけた。その結果、会員の絶大なるご協力、市民の皆さんのすごい熱意で、会員130名、全体で2,500名をこえる市民総踊りが西幹線通りをねり歩き三日間にわたる夏祭りが盛り上りました。同友会24社協賛の1時間テレビ「'83八代球磨川祭り皆で踊ろう」も市民の祭りへの関心を高めたのではないのでしょうか？統一地方選挙を来年に控え沢田知事四選是非をめぐり自民党県連が紛糾し、市長選は有力対立候補の噂で騒然とする中、年末には激務の中を細川参議が例会講演されるなど政治的にも多忙の一年でした。思い起こせば、各役員の方々と何度も第1インで会合を重ねた事が目の前をよぎります。会員諸先輩のご指導ご協力で深謝します。



食品卸業

八代調味株式会社



皆様の家庭に
健康をお届けする

フレッシュ・プロイラー

株式会社 中 九

故人となられた会員の 業績を偲んで

石田 徹さん 飯田 圭蔵さん
有田 恭雄さん 野田 嘉武さん
白石昭三郎さん 吉本 安一さん
の霊に捧げます

詩人で文学青年でもあった石田徹さんは、昭和50年9月25日に他界されました。同友会の前身である産業開発研究会が発足した直後に入会されており、昭和40年、41年の2年間代表幹事をされ、同友会になってから昭和46年度の代表幹事として多彩な行事を実行されました。

石田さんは、地域開発研究会と産業開発研究会の合同の話がもちあがった昭和44年3月には産業側の交渉委員として、谷口勝利代表幹事とともに大合同の推進に努力されました。産業開発研究会の役員会、総会で谷口代表幹事とともに合同の必要を説き、全会一致で賛成の決議となりました。このことは、石田さんの同友会に対する忘れてはならない功績だと思います。この間の事情は、私がすべての会議に出ていますのでよく承知しております。

八代経済開発同友会の名称から開発の2字を省いて、全国共通の現在の会の名前に変更することを提案したのも石田さんで、私が熊本同友会に了解をとりに行きました。また石田さんは吉永商工会議所会頭に会って、経済団体は一

ヶ所に集まって緊密な連絡をとりながら運営したがよいのではないかと提案し、会頭も快諾されて会議所の建物の中に現在の事務局が新設されました。それまでは市役所の私の勤務課が連絡先でしたので、会員の皆さんにはたいへんご迷惑をかけていました。事務局の設置は石田さんの大きな功績となりました。

同友会の代表幹事として毎月2～3回の例会のほか各委員会が開催され、そのうえ天草で2回、芦北で1回の釣り大会、バレーボール大会にボーリング大会が開かれました。ゴルフの経友会が9月に発足し、県外視察は県立吉野公園と鹿児島市の商店街を対象に鹿児島へ行きました。細川護熙氏を主賓に秋の茶会も開催されました。石田さんにとって誠に忙しい1年で、よくこれだけの事業ができたものと、改めて驚いている次第です。

亡くなられる前の5、6年の間は毎週私の家に遊びに来られて、二人で畳に横になって商店街の問題や市役所、同友会の話を夜遅くまで語って時を過ごすのが楽しみのようでした。しかし経営されていた電気店の方は順調に伸びたものの、晩年は病気で入院されることが多く、交通事故も重なって52歳で亡くなられました。

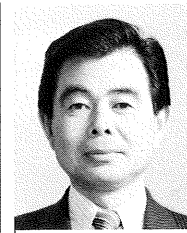
飯田圭蔵さんは産業開発研究会の発足の直後に入会され、石田さんが代表幹事るとき副代表幹事として協力されました。しかし任期の終りになって病に倒れ入院され、昭和46年12月27日に41歳で亡くなられました。飯田さんの葬儀で



船用品全般
養魚用飼料・資材
小型船舶検査用品

八代市新浜町2-7

株式会社 島 児 屋



創立48周年を迎えました
私達は信頼を受けとります
そして安心をお届けします

港湾運送業 貨物自動車運送業
船舶代理店業 工場構内荷役業

合資会社 曙 組

石田さんは同友会を代表して弔辞を読まれました。頼みにしていた同志を喪った悲しみと、飯田さんの人柄、業績をたたえた名文を涙のうちに朗読され、会葬の皆さんを感動させ涙を誘いました。しかし4年後の石田さんの悲運は誰も知る由がありませんでした。

雑誌「商業界」の熱心な愛読者で、同誌のゼミには毎回出席される一方東京から著名なコンサルタントを招いて、店舗の改装、経営の刷新に努めた飯田さんは、新製品の開発にも意欲を燃し、八代を代表する菓子製造販売業者のひとつとして急成長されました。飯田さんのすすめで商業界を購読しはじめてから、私もことして15年になります。

飯田さんは緒方基一代表幹事の時観光委員長として、県市に八代の観光について提言されました。飯田さんの主張は、先ず八代を中心とした道路交通網の整備を急ぎ、それと同時に日奈久、松浜軒、八代城、東部山麓等の観光資源を開発することにあります。具体的な説明は省略しますが、いつもユニークな観光開発の構想をもっておいでになりました。また、県との連携を密にしたいとの飯田さんのご意見で、例会はもとより委員会まで県から講師を招きました。とくに商政課は課長、課長補佐、係長から係員まで来てもらいましたので、会員の中には個々の問題について直接県から指導、助言を受けた人も多くたいそう喜ばれました。

石田さん、飯田さんと副代表幹事の水洗十三郎さんの強力なコンビは、次から次へと新しい

企画を打ち出され、公開講演会も2回開催するなどめまぐるしい多忙な同友会の1年でありました。

有田恭雄さんは、日本セメントを辞められて設計事務所を開設されて入会されました。有田さんは石田さん、飯田さんをはじめ同友会の会員でつくった表千家一葉会（茶道）の副会長で、私が事務局長を頼まれました。私の家によくおいでになり、有田さんのお宅にもたびたびお伺いしました。話題の豊富な方だったので、毎回夜遅くまで話をしていました。私が市役所を辞める直前に勤務しました議会事務局には、毎週顔を出されました。事務局の皆さんが親切なので落ちついて話ができると喜んでおられました。

同友会は創立の経緯から都市計画の研究が盛んでしたが、有田さんはとくに都市計画に関心を持っておいでになりました。昭和49年の市の都市計画の大改訂のときは、専門家の立場から貴重なご意見を出していただき、同友会を通じて計画の各所に反映されました。私が市の職員として駅前再開発の構想をまとめたときも、建築技術者としていろいろ助言をいただきました。

有田さんは同友会の会員でつくったカメラクラブ「緑風会」の会長で、たびたび撮影会を企画されました。モデルを熊本から呼んで大島の中腹の台地が会場でした。熊本市から招いた審査員が厳選された結果は、いつも有田さんが最優秀賞を独占されておられました。長い間油絵を描いておられ、美術協会の役員でもあったの

で、写真構図、モデルの表情のとらえ方は抜群でした。昭和54年田崎多十郎代表幹事の時、副代表幹事をつとめられました。

しかし有田さんも病気のときが多くなり、交通事故にもあわれて（私が示談の協力をさせていただきました）たいへんだったと思います。有田設計事務所の最後の作品は、私の茶室でした。死期迫るなかの病室のベッドで、設計の細かい指示を担当の社員にされること再三で、途中で社員の方にご一任願うよう頼んだのですがお聞きいれにならず、最期まで設計の面倒をもらいました。残念なことは、建築の完成をまだずお亡くなりになったことです。昭和56年6月7日、享年56歳でした。

城南鉄工所の頭脳的存在であった野田嘉武さんは、温厚な人柄でよく人の意見を聞かれる方で、社長の信頼も厚く、従業員の面倒を日ごろからよくみておられたようで、社員の皆さんの評判もたいへんよい人でした。1年の入院生活ののち昭和48年5月7日に亡くなりました。享年48歳でした。

同友会では県の商工水産部次長に、会員の工場を見てもらったことがあります。次長は城南鉄工所で野田さんの説明を聞いたあと、八代の中小工場にも優秀な幹部技術者がおいでになるので心強いと、野田さんを賞賛したことを覚えています。地域開発研究会がスタートした直後は、いろいろ大きな事業を計画したことがあります。野田さんはどの計画にも前向きに取り組

まれ、銀行にゆかれて資金面の検討までしていただいたことがあります。

和田正幸代表幹事の時幹事（当時は副代表幹事、常任幹事、委員長の制度はなく、少数の幹事で運営していた）をされ、田崎多十郎、松田敏雄、宮崎典三、和久田昭三、白石昭三郎の皆さんと、発足2年目の研究会の運営を担当されました。私が事務局を担当しました。

病院にお伺いしたとき、病室にひとりおいでになったので研究会のことや八代港、用途地域について話をしました。病気にさわると思いついて帰りかけますと、何度も引きとめられて話かけられました。あとでいろいろ話して楽しかったことと言われたそうで、今でも野田さんのあのときの淋しそうな顔が目に残ります。ご家族だけが不治の病と知らされていた筈ですが、野田さんもあるいは感じとっておられたかもしれません。

白石昭三郎さんは青年会議所の理事長として活躍されたほか、八代校区のPTA、交通安全協会、体育会をはじめ各方面のリーダーとして、校区にとっては貴重な存在でありました。近い将来市議会議員に推したいとの声が出ていたときの急逝で、誠に残念でした。同友会の日奈久開発委員長として、日奈久温泉の振興に努力され現地で委員会を開いて、市の出張所長や観光協会幹部と意見の交換をしたり、これを参考に何回も委員会が開かれたので、私たちも改めて日奈久温泉を見直したこともありました。



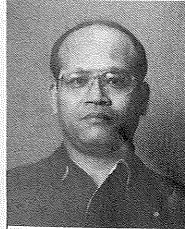
NYCH本洋服チェーン熊本店
1流品を売る喜び、それがNYC店の魅力です。

男の殿堂 紳士服の
マルクラ



八代市新浜町1-1

(有) 味の 瑤 峨



各小学・中学・高校制服指定店
学生衣料専門店

しょうの

八代市本町1丁目5-33

(名) 庄野学生堂 八代支店

同友会が中心になって「八代釣りクラブ」ができたとき、白石さんにはたいへんお世話になりました。同友会の事務局に看板をあげて市民から会員を募集したところ、官公署などから多数の申し込みがあって、第1回の釣り大会は大型の旅客船を2隻借り上げて満員の盛況で、御所浦まで行きました。準備はすべて白石さんに引き受けてもらい、役員一同恐縮しました。釣りの経験の全くなかった私は、一晩かかって白石さんの自宅で個人教授を受けました。

白石さんは和田代表幹事のとき野田さんと幹事をされ、そのあと観光委員長をつづけられ、緒方代表幹事のとき教育文化委員長をされました。昭和47年2月5日急逝されましたが、享年43歳でした。白石さんが倒れたとの連絡で、会員多数が病院に着いたときは、すでに危篤の状態でした。

地域開発研究会の初代の代表幹事であった吉本安一さんは、昭和53年9月23日に他界されました。享年52歳でした。昭和38年11月から40年11月まで代表幹事を、そのあと常任幹事を2年間され、会の発展に努力されました。円満な人柄と卓越したリーダーシップで、研究会をまとめられ、会員の信頼も厚く会の運営は順調にすすみました。吉本さんが代表幹事のころは、例会が毎月2～3回あり、役員会が2回でしたが、すべて無欠席でつとめられました。42年11月に元気だった吉本さんが、突然入院され会員一同びっくりしました。死線をさまよわれる重病で

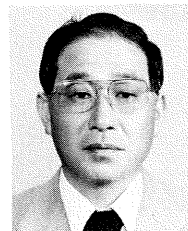
したが、持ちまえの気力とご家族の手厚い看護で克服され翌年4月に熊大病院を退院されました。

労災病院でリハビリ訓練ののち、44年春から家業の吉本旅館の経営にあたられました。旅館であった会議に出席した機会に、私も3回お会いしてお話をしました。研究会から同友会に変わる前後でしたが、たいへん喜ばれて毎回発足のときの思い出話をされたことを覚えています。53年8月再度病に倒れられ夢であった同友会への復帰の念願もついにかなわず不帰の客となられました。病気で退会をされてから満11年目のことでした。

同友会創立20周年を迎えるにあたり、会の発展に貢献された今は亡き先輩諸氏のご悼福を心から祈ってやみません。紙面の都合で簡単なご紹介になりましたことをお許し願います。同友会20年の歴史の一部を引用しながら追慕の文を綴らせていただきました。

友人を代表して

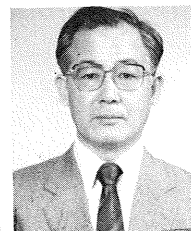
森 本 逸 夫



森永製菓・明治製菓
グリコ・ロッテ・不二家
他 国内有名メーカー特約店

菓子・アイスクリーム
総合卸問屋

白石製菓株式会社



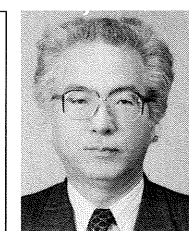
真 実
(私の好きな言葉)

レストラン やまなみ



住み良いふるさと!!
環境整備のお手伝い

十八建設株式会社



不動産に関する
総合コンサルタント

株式会社 田辺不動産鑑定事務所

八代経済同友会 20年のあゆみ

森 本 逸 夫

八代経済同友会はその前身の研究会から通算して、ことしで創立20周年を迎えることになりました。昭和38年9月に八代地域開発研究会が同年11月に八代市産業開発研究会が発足しましたが、昭和44年5月に両研究会が合同し八代経済開発同友会となり、昭和47年1月から開発の2字を省き八代経済同友会と名称を変更して現在に至っております。

地域開発研究会の誕生

昭和38年7月12日に有明・不知火地区の新産都市指定が閣議で決定し、8月3日に市民480名が出席して厚生会館で祝賀会が開催されました。8月12日に臨時市議会が招集され、新産都市に関する業務と地域開発の推進を担当する開発課の新設が議決されました。同日付で私が開発課長を命ぜられ、八代市の新産都市の担当となりました。翌日の夜から八代地区は集中豪雨となり、水無川が氾濫し、古麓地区に大きな水害が発生、14・15の両日にわたって市役所職員は災害対策と被害調査に追われました。

8月16日に県庁へ新任の挨拶に行きました。

企画室、商工水産部、土木部の各部課長、課員の皆さんに挨拶して回ったところ、企画室で私に来るのを待っていたとのことでした。企画室へは坂田道男市長時代から市長の指示で毎週1～2回事務打合せと陳情に出ておりましたので旧知の人ばかりでした。企画室の用件は次の要旨の内容で、これが現在の同友会が発足する原因となりました。

「有明・不知火地区の新産都市の指定があったので、県は早速県内の産業基盤整備にとりかかる。特に八代は重点地区であるので、協力態勢をつくって欲しい。例えば、熊本経済同友会のようなものでよいが、それも地域開発に関心のある若手の皆さんの意見が反映できる経済団体ができないだろうか。県もできるだけの協力をしたい。八代の発展のために考えてもらえないか」

この話は市の開発課長である私個人にありました。坂田市長から次の市長に変わって4カ月目のことでした。県の気持はよくわかりましたが私にとってはたいへん大きな問題でした。しかし私はこの話を引き受けて、すぐ動くことを約束して帰りました。港湾、河川、国道など地域開発の推進をながい間担当してきた者としては当然のことだったかもしれません。

8月19日に市役所においてになった富田振作さんに県の話をし、協力をお願いしました。富田さんは大賛成ですぐ実動にかかったがよいと思うと言われ、1日も早くスタートさせようと激励されました。翌日八代駅前の問題で開発

課に顔を出された松田敏雄さん、港のことでおいでになった田崎多十郎さんにも相談しました。両氏も富田さんと全く同じ意見で、県の話が一步前進することになりました。その日の午後、徳住本店に徳住正吉さんをたずねて、相談しました。話の結果、上村寿之助さんと3人で会員募集の具体的な話合いをして帰りました。

私の地域開発の指導をしていただいていた有田一郎先生にも電話で相談しました。早速八代においてにられましたので、経過を報告して協力と助言をお願いしました。その後有田先生は研究会から同友会の今日まで、ながい間ご指導をいただいております。8月20日の夜、県議の柳田静雄さんを自宅に訪問して、経過を報告しました。柳田さんに激励されて帰った翌日、熊日の園田四郎支局長に相談しました。柳田さんも園田さんも公私にわたってご指導いただいていたこともあって、今後のすすめ方について助言をしていただきました。

会員募集も17名が集まりましたので、設立総会を9月25日の午後3時30分から厚生会館で開催しました。14名が出席しましたが、現会員では上村・徳住・松木・田崎・神園・中村・森本(逸)の7名で、宮崎(典)さんが当日所要のため欠席されました。10月になって、白石(浩)さんたちが入会して25名になり、12月には和久田さんたちが加入して27名となりました。

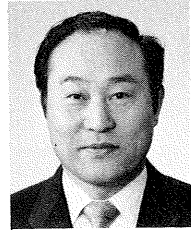
設立総会のプログラムは

- | | |
|----------|--------|
| 1 開会のことば | 徳 住 |
| 2 経過報告 | 森 本(逸) |



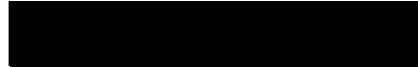
八代市日奈久中西町485

(株) 潮 青 閣



司法書士・行政書士

市議会議員
谷 口 一 男



- | | |
|-----------|-------------------|
| 3 発起人代表挨拶 | 上 村 |
| 4 規約審議 | 議長 上 村 |
| 5 役員選出 | |
| 代表幹事 | 上 村 |
| 幹 事 | 徳住 富田 和田
松田 田崎 |
| 監 事 | 松木 中村 |
| 6 来賓挨拶 | 有田一郎氏 |
| 7 閉会のことば | 上 村 |

となっております。

総会が開かれた9月25日の午前11時から上村、徳住両氏が、市役所の記者クラブで研究会の発足について説明し、26日の各紙に記事が掲載されました。県の関係部課長にはその都度報告はしておりましたが、10月8日に代表が寺本知事に会の発足の報告と今後の協力を要請するため県庁へ行きました。知事から研究会と緊密な連絡をとることと、各部課をあげて協力するとの話がありました。当日は上村・徳住・富田・松田の皆さんが参加しました。市長にも挨拶し地域開発の研究会をつくったことを報告しました。

なお10月26日に商工会議所の大原義利専務に研究会発足までの詳細な経過を報告し、今後の協力を頼みました。大原さんは会議所退職までのながい間、当会のためにご尽力いただきました。

第1回の例会は10月16日の午後4時から、厚生会館で会員15名が出席して開催しました。講師は熊本経済同友会の平塚泰蔵代表幹事と次の各氏でした。

- | | |
|--------------|--------|
| 熊本経済同友会流通委員長 | 木下 嵩氏 |
| 〃 経営研究委員長 | 金沢大四郎氏 |
| 〃 観光委員長 | 渡辺 幸義氏 |
| 〃 事務局長 | 杉谷彦三郎氏 |

経済団体として発足した当会の激励と助言をかねて、ご出席されました。地域開発についても活発な討議がありました。平塚さんは経済団体の運営にあたっての基本的な問題について話をされました。司会是有田先生が担当され、熊日、朝日の各新聞とNHKの記者が傍聴しました。第2回の例会は11月5日に興人の大宮二郎支社長(大宮さんは通産省のご出身で、地域開発の専門家でした。例会にもたびたびご出席されました)を講師に、第3回は11月12日に県の松永企画一課長、同山下補佐、八浪参事(現東京事務所長)、高見工鉦課長、第4回は11月22日に河端商工水産部長、第5回は大手町踏切の信号機についての国鉄、県、警察の陳情結果の報告と今後の対策を会員で協議しました。なお海岸近くを通る幹線道路をつくる必要があるとの意見が出て、田崎多十郎さんを委員長とする不知火バイパス委員会をつくりました。委員には和久田・神園・白石(昭)・中村の各会員を含めて7名でした。12月10日。このときの構想は現在の大規模農道計画と全く同じです。

委員会はほかに新貨物駅対策委員会が11月5日にできております。富田振作委員長・田崎・桑原・白石(昭)の3名が委員でした。11月28日に市内踏切の交通量調査を実施したほか、球磨川駅の移転陳情を国鉄、県、市に行なってい

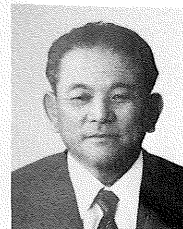
ます。

第6回は39年1月8日に益子県商政課長、(岡山係長同席)、第7回は岩村市都市計画課長、第8回は、はじめて産業開発研究会と合同で沢田一精参議を講師に2月1日に開催、第9回は河口球磨川工事事務所長、第10回は肘岡県商政課金融係長、第11回は産業と合同で木村日銀支店長、阿部中小公庫支店長、河野商工中金支店長(以上熊本)、安宅国金八代支店長、司会益子商政課長、第12回も合同で運輸省第四港湾局長宮崎茂一氏(現自民党代議士)、5月14日。第13回は6月13日に有田一郎先生、第14回自由討議で6月22日に開催、主な発言は: 国県関係の講師ばかりなので市長を招んだらどうか、八代駅の客貨分離を会の重点目標とすべきである、産業開発研究会との合併は(もう少し先にしたい)、東幹線の工事の促進を、講師の話を聞くだけでなく、公共事業の場合は促進運動を、研究会員だと言ったら激励され感激した。八代の発展につながる問題を優先すべきだ。7月22日に合同で森本開発課長、第15回。8月10日に加茂野県港湾課長、9月18日に創立1周年を迎えて総会を日奈久松洋閣で開催し、役員を改選しました。

代表幹事 上村(再) 幹事 徳住・田崎・富田・松田(敏)以上再 豊田(剛)・松木以上新 監事 白石(浩)・有田

私は前年に引きつづき事務局を担当することになりました。

以上が八代地域開発研究会の最初の1年間の

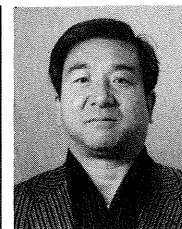


テント・シート・カーテン

屋内 屋外 パーティー集会用会場

設備一式

八代テント株式会社



漁業用水産資材

合資会社 谷口漁具店



歩みですが、有田一郎先生には各例会にご出席いただき熊大、熊本経済同友会との連絡をお願いしました。又、例会の司会をお願いしたこともあります。

会場は厚生会館を使い、開会時刻は14時～16時で夜間は開催しませんでした。1年間の講師の謝礼は7900円で、これは講師の車代、菓子折代で県の関係者には県の希望でお礼をしませんでした。人件費はゼロでたいへん安あがりの団体でした。

経済団体を考えながら研究会になったのは、発起人の皆さんが組織を固め実績をつんでからにしようと思いが一致したためです。八代の地域開発を推進し、産業基盤の整備を図ることが会の目的であったので、八代地域開発研究会の名称となりました。

はじめは1年はもつまいと陰口を言われたのですが、その1年間で会の基礎が固まり、今日に至っております。これは上村代表幹事をはじめ役員、会員の皆さんが八代の発展を希求する同志的な集まりであったことによると思っています。また会員の定年を50歳としたものの、最年長者が45歳、平均40歳前後の青壮年の論客が揃っていたことが会に活気をもたらしたと考えています。

産業開発研究会の設立

地域開発研究会ができたとき、八代の開発を推進するためにもう一つ類似の団体をつくるのが効果的でないかと考えました。有田一郎先

生に相談すると、会が大きくなると例会の出席率も落ち、発言の機会も少なくなるので、結構だとお話がありました。

萩原、大手町の友人に呼びかけました。主として中学時代の3年あとの皆さんでした。地域開発研究会より会員の平均年齢が若い人を対象に考えたからです。早速反応があって、昭和38年10月26日と31日の2回有志の打合せ会があり、各5人が集まって協議しました。私から主旨を説明したところ全員が賛成して、直ちに会員募集にかかりました。発起人の同級生、同業者、町内の友人から人選したため、11月8日の設立総会（厚生会館にて）には会員19名（2名欠席）が出席し、有田一郎先生と私が来賓として挨拶しました。当時の会員で今日まで続いている人は谷口勝利さんと森精一さんです。徳田義雄さんは約20日後の12月1日に入会され現在に至っております。谷口さんが初年度の幹事（副代表幹事、常任幹事等はありませんでした）に選出され、私が事務局長をすることになりました。

会員の定年を45歳としましたが、最年長は40歳で最年少が23歳、平均年齢が32歳の若いグループが誕生しました。例会は毎月第二金曜とし、午後4時開会を原則としました。会費は月額1,000円でした。

地域開発研究会と異なる点は、地域開発の推進のほかに中小企業の経営者としての勉強にも重点をおくことでした。このため県の益子商政課長に相談したところ快諾されて、講師派遣が決まりました。

第1回例会は、県商政課の有働寛課長補佐（県立農協専門学校長で退職）と加賀山辰也さん（現監査事務局長第一課長補佐）を講師に中小企業法の解説と国県の中小企業金融対策について話を聞きました。11月28日のことで、18名が出席しました。

第2回は昭和39年1月23日に前回の講師加賀山主事から中高層建築の融資について、第3回は地域研（地域開発研究会）と合同で沢田参議を講師に、第4回は2月21日に県商政課の土屋主事、中央会の福田事務局長、近藤指導課長の3氏で中小企業等協同組合の作り方について、第5回は県商政課の岡山幸信流通指導係長の東南アジアの視察報告を3月3日に、第6回は県商政課の村上正則商業振興係長と島村信也公認会計士で流通革命について話がありました。3月10日のことで、1週間に2回例会を開きました。

第7回は市開発課長の私から新産都市建設の現況について、第8回は県商政課長補佐の有働さんが39年度の県の中小企業対策の予算について4月10日と27日に開催しました。第9回は益子商政課長と日銀ほか4支店長を地域研と合同で、第10回も合同で宮崎四建局長、第11回は県労政課の菊川泰二係長の最近の県内中小企業の賃金について、第12回は熊本市のホテルキャッスルで熊本経済同友会の平塚泰蔵代表幹事的话を聞きました。11回が5月29日、12回が6月13日。

第13回は熊日の岩下雄二氏を迎えて道徳再建

運動について、夫婦同伴の例会を開催しました7月7日。第14回は開発課長の私が新産都市建設の現況についてを地域研と合同で7月22日に第15回は合同で、加茂野延県港湾課長、第16回は自由討議で9月11日に、第17回は肥後銀行山下恒則八代支店長、同山崎保之駅前支店長を招きサービス改善について懇談、9月17日。

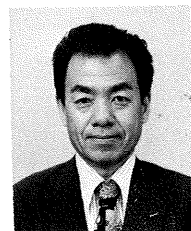
第18回は10月3日に島村公認会計士の中小企業の経営改善について、同日谷口勝利さんが企画委員長に、森精一さんが金融対策委員長に選出されました。第19回は会員の希望で島村公認会計士の3回目で中小企業の税務対策を11月12日に。創立1周年になるので、1年間の会計報告がありました。

1年間の講師謝礼が19,400円で、主として島村先生の旅費と謝礼、一般の講師の菓子折代で、県関係は県の希望で謝礼をしませんでした。

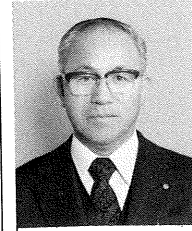
1年目の総会は少し遅れて昭和40年になって1月16日に新江月で開催されました。役員改選があり、私（事務局長）に選考委員の指名が一任され、5人の委員で石田代表幹事が指名されました。幹事に谷口勝利さん、森精一さんのほか8名が選出されました。引き続き事務局長は私がすることになりました。

八代市産業開発研究会は会員を市内に限定したため、地域研と違って名称に市が入っています。

県の商政課の協力で1年間の講師は、同課員および同課のお世話による人がほとんどでした。また、地域研との合同例会は将来の両団体の合



株式会社 熊本放送 八代支局



アルミサッシ・エクステリア
木製建具 製造販売

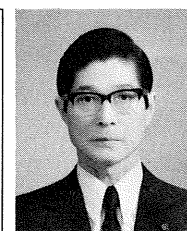
合資会社 トガノ木工所



信頼のマーク
貝印石油

シェル石油株式会社
特約店

徳住石油株式会社



品質本位◎信用第一

パーマ用品・百貨卸
日本髪婚礼用品

みづほ商会

同の糸口となりました。

事務局を応援された皆さん

二つの研究会が昭和44年の合同まで順調に運営ができたのは、歴代の役員および会員の皆さんの努力によることは勿論ですが、これを支えた裏方の皆さんのご協力を忘れてはならないと思います。文書の発送、書類の整理、会計帳簿の管理などを当会のためにご尽力いただいております。

両団体の発足の際、開発課の田中正行さん（水道課長で退職、現在迎町に居住）が昭和38年9月から翌年5月まで、5月から豊田沢味さんが43年4月までご協力下さいました。おふたりとも毎日自宅まで夜遅くまで書類の整理をされ、発送文書も深夜投函されるなどたいへんご迷惑をかけました。この4年6ヶ月で両研究会の基礎が固まったと思います。

豊田さんのあと代表幹事の会社で事務をとることになりました。

地域開発研究会では、上村代表幹事の期間は伊藤紀子さんに応援してもらいました。また、事務局ができるまでの相当の期間、柳田豊子さんにもたいへんお世話になりました。おふたりとも会の窮状をみかねて自発的なもので、十数年たった今日でも心から感謝しております。

昭和47年1月に事務局が設置されるにあたって最適任者として伊藤紀子さんをお願いしました。51年末まで在職され、事務局の運営はすっかり軌道にのりました。そのあと松田喜美代さ

んが55年2月まで勤務され、伊藤さん同様惜しまれて退職されました。

活発だった両研究会の動き

昭和44年の新春から両研究会の合同の話が具体化し、会議の内容はすべてこの点に集中したため、一般の例会が開催されたのは約5年間でした。この間の例会の開催回数は地域研が72回、産業研（産業開発研究会）が100回でした。1、8、12月の各月は例会を開催しないのが普通です。産業研の場合は毎月2回以上開催したことになります。このほかに幹事会、委員会が開催されていましたので会員が約30名の会としては誠に多忙は毎月でした。会員数が少ないので出席率をよくしないと講師に申し訳ないので、例会にあたって会員の動員が一番問題でした。両研究会とも月に4回例会を開催したことがあります。

合同例会を開いたことが14回ありましたが、これは両研究会が緊密な連絡をとりながら運営していたことを物語っています。島興人さんは両研究会の会員を兼ねていただいたので、例会と委員会、役員会を合わせて月に10回以上の行事に出席されたことがあります。

県からの講師が、合同までの5年余の間に地域研が15回、産業研が17回ありました。知事さんから各課の主事さんまでで出席になりましたが、発足の趣旨からすれば当然のこととはいえたいへんお世話になりました。

昭和40年1月の合同例会に出席された寺本知

事が、「県は八代の発展に運命をかけており、八代の開発に全力を傾けたい」と発言され、これが日刊紙で報道されて、大きな反響を呼びました。（当時の主な例会は、記者の皆さんの取材出席を認めていました）金融機関からの講師も、日銀、肥後、開銀などから、地域研が8回、産業研が11回ありました。すべて県のお世話によるものでした。その都度県から出席してもらって、司会をお願いしていました。新聞関係からも熊日、西日本、朝日、毎日、読売の各紙から順次交替で経済部長、論説委員を招いておりました。地域研では43年6月に朝日、9月に毎日からそれぞれ経済部長を講師に、公開講演会を開催しています。新聞社の話は新聞に出ない話も多く、毎回好評でした。

八代の鉄道の諸問題解決に努力

地域研の上村代表幹事は、八代駅の客貨分離に熱心でした。私は市で鉄道の担当でもありましたので、幹事会のたびに懸案事項の推進状況を聞かれ、困っていました。しかし、結果的には、その後の市役所勤務の中で、つねに国鉄の諸問題に関心を持つことになりました。

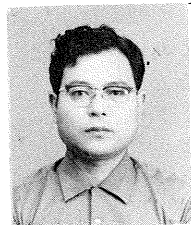
同友会が鹿児島本線の電化、複線化、駅前再開発計画、踏切の安全対策、その他八代の国鉄の問題に熱心に取り組むことになったのは、上村さんのお蔭だと思っています。

下関工事局の担当課長に来てもらって、上村さんと現地で球磨川駅の移転について要望したのが39年1月でした。40年5月に国鉄問題をテ-

マに、県企画一課の山下寅男補佐を講師に例会を開きました。43年2月に酒瀬川熊鉄局長を講師に、八代の鉄道問題研究会を開きました。八代駅の客貨分離（球磨川駅の移転を含む）、鹿児島本線の複線化（当時は単線でした）、工場専用線の廃止、市内踏切（引込線を含む）の一種自動化、東幹線踏切の早期完成など30件が提案され、地域研には国鉄の専門家がいるのではないかと、局長が駅長に聞かれたそうです。会員の皆さんが、駅や保線区へ行って勉強しての提案でしたから、局長が驚かれたのは無理ないと思います。酒瀬川さんを第1回に、47年5月田中利男局長、48年2月大石文雄局長、49年5月滝上正義熊鉄局企画室長、52年3月高桑利雄局長、53年7月大沢昂局長と5人の局長を講師に、八代の国鉄の諸問題を研究しています。当会からの提案事項も多く、八代駅をはじめ国鉄の出先機関の皆さんが多数傍聴される慣例になっており、国鉄でも国鉄問題を深く研究している点で、当会を高く評価されておりました。55年には、湯野駅長を委員会講師にお願いしております。

47年の古閑代表幹事のと看、山陽地区の新幹線調査をまとめた報告書は、内外から評価され、県および県内外の関係市から要請があつて、配布したことがあります。

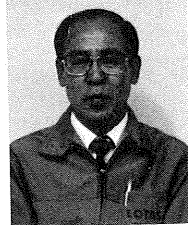
知事または県の幹部が講師になられたときは、必ず八代の国鉄問題を取り上げて要望しております。国鉄問題を一例に取り上げましたが、建設省（河川、国道）、運輸省（八代港）について



贈り物……それは小さな愛のかたち。

贈り物専門店

(株)ハリカ八代店



自動車
産業機械 のパイオニア
建設機械

株式会社 豊田工業所



八代市役所

課長 豊田澤味



中央街1丁目

コンドル遊技場

も、同様な働きかけを致して、今日に至っております。

研究会の時代は、スタートから県の全面的なバックアップもあって、八代の地域開発の推進に大きな役割を果たしたと思っております。また、歴代の建設省八代工事事務所長、運輸省八代港工事事務所長の皆さんに、たびたび講師としてお世話になったほか、本省および出先の局から幹部を招いていただきました。建設、港湾の各官庁に直接市民の声を反映することができたのも、研究会の力であったと考えております。

両研究会の合同の経過につきましては、当時の代表幹事であった谷口勝利さんが、正確な資料をもとに別項に書いておられるので、省略致します。

八代経済同友会（発足当時は経済開発同友会）がスタートして14年4ヶ月になります。各年度の事業報告は、当時の役員の皆さんが書いておられますので、重複を避けて、同友会の歩みをまとめてみたいと思います。

同友会の広報活動

昭年46年度の石田代表幹事のときから、総会、例会、幹事会の詳しい報告、委員会の活動、レクリエーションの報告、各種事業の計画内容と結果の報告、会員の動静などを会員に伝えるために、会員向けの会報を発行しています。石田さんの発案で、今日まで続いています。昭年57年

末までの12年間に、99回発行されています。年平均8回ですが、平均より少ない年は1回2頁以上の会報を発行していますので、記事の量はほとんど同じです。会報の90%は、歴代の代表幹事の依頼で私が書いております。例会、幹事会に出席できなかった人でも、会の動きを適確に把握できる便宜があり、あとの会議に出ても困らないと云われてきました。歴代の執行部が会員への広告活動に努力されたことに、改めて敬意を表する次第です。

八代市民を対象にした広報紙として、熊日に折り込んで配布した同友会報を3回発行しています。新聞用13,500部、諸官庁配布用1,500部、計15,000部を毎回発行しました。

- No.1 昭和52年12月号 宮崎典三代表幹事
九州自動車道特集号で、八代までの工事の促進と、完成後の諸問題を中心に書かれています。
- No.2 昭和54年12月号 田崎多十郎代表幹事
東幹線踏切の早期完成、市中心部のバスターミナル建設、西廻り自動車道の促進を中心に特集してあります。
- No.3 昭和56年12月号 小笹康介代表幹事
夏祭りの振興についての提言特集号でした。3回とも大きな反響がありました。経費の都合で、2年に1回の割で発行しております。各号とも固い記事のほか、八代亜紀さんをお願いして、最近の公演活動の報告と、市民の皆さんへのご挨拶を書いてもらっています。取材は幹事会で決定し、企画を私が、面倒な編集を豊田澤味さんが担当してきました。

各日刊紙にもお願いして、会の活動取材してもらっております。別頁に関係の記事の一部を特集しております。

本会独特の県外研修旅行

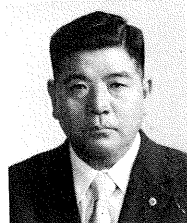
同友会の研修旅行は、観光を従として調査を主眼にしています。同友会になってからの県外研修は次のとおりです。

1. 昭和45年 4月25日～26日（2日間）
目的地 宇部市（常盤公園） 13名参加
2. 昭和46年 9月11日（1日間）
目的地 鹿児島市（吉野公園） 11名
3. 昭和47年 9月10日～12日（3日間） 10名
目的地 姫路、相生、三原、岩国の各市（新幹線調査）
4. 昭和48年 7月13日～16日（4日間） 11名
目的地 倉敷、福山、宇部の各市（新幹線と都市公園）
5. 昭和49年 7月18日～20日（3日間） 9名
目的地 桑名、岡崎の各市（商店街再開発）
6. 昭和50年 10月24日～11月4日 4名
目的地 北京、上海（中国視察）
7. 昭和51年 5月22日～23日（2日間） 9名
目的地 宮崎、都城の各市（大型店の出店と商店街）
8. 昭和52年 8月27日～28日（2日間） 12名
目的地 玄海町と唐津市（原子力発電と火力発電所）

9. 昭和52年 10月1日～4日（4日間） 8名
目的地 倉敷、岩国、宇部（新幹線駅と常盤公園）
10. 昭和53年 10月20日～22日（3日間） 3名
目的地 松本市（都市計画、地場産業の振興、中央自動車道）
11. 昭和54年 5月18日～20日（3日間） 3名
目的地 那覇市（都市計画、地場産業の振興）
12. 昭和55年 5月14日～16日（3日間） 10名
目的地 東京都（国会陳情）
13. 昭和56年 8月9日～11日（3日間） 9名
目的地 高知市（よさこい祭り）

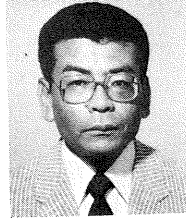
13回のほかに研究会時代に大分と宇部の視察をしておりますので、20年間に15回の県外研修旅行を実施したことになります。とくに宇部市へ4回行っておりますが、これは常盤公園を中心に、同市の運動公園、動物園の視察のためです。

昭和56年の高知よさこい祭りの視察には、市と会議所からもご同行願いました。同友会がかねて提唱しておりました、市民総踊りを中心にしたくま川祭りが、昨年から盛大になったことに大いに効果があったと思っています。同友会でも熊日折り込みで、市民の皆さん向けに会報を発行し、視察の結果を報告しました。昨年は2,500人、ことしは3,000人をこえる踊り参加者がありましたので同友会も市民の皆さんと



株式会社

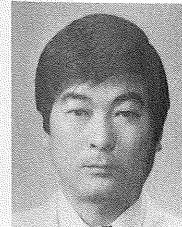
中川モータース



手造り一筋！

祝会席・精進料理
鉢盛・折詰・宴会
(マイクロバス無料送迎)

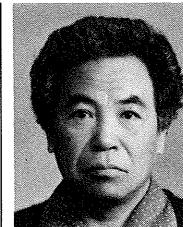
合資会社 ひ さ ご



高級檜製品

一般建築材・製材・販売

株式会社 八代角丸商店



八代市日奈久中町292番地

(資) 松野屋旅館

もに来年はもっと盛大になるよう努力したいと
 思います。同友会も昨年135名、ことしも100
 名が参加して祭りを盛り上げました。残念なのは熊本市の火の国まつりと違って、八代は農業
 や漁業と団体の参加がないことで、来年に期待
 しています。

20年間の事業の中で、特に印象に残る行事、
 活動をご紹介して20年の歩みを終わらせていた
 だきます。(順序は前後します)

1. 昭和49年2月例会 講師に大昭和製紙の幹
 部を招いたこと。会社年鑑を見て同社の社長室
 長に申し込んだのですが、早速開発部長をはじ
 め幹部が来代、社長秘書も同行されての例会で
 した。例会では、社員約1,000名、下請1,000
 名の工場規模が説明され、最新の公害対策で工
 場を八代外港に建設したいとのことでした。八
 代が本命で、西部商店街の振興に役立つ形で社
 宅をつくると言明がありました。下請も地元優
 先、社員も地元優先採用の条件も示され、建設
 工事も可能な限り地元に戻すとの話でしたが、
 結果的には実現しませんでした。市民の皆さん
 の中に残念に思った人が多かったようです。

2. 九電の火力発電の誘致も試みたのですが、
 これも実現しませんでした。昭和52年のことで
 した。川内、玄海、唐津の発電所を見学して大
 いに研究につとめたのですが、残念でした。雇
 用は下請とも200名前後の、石炭火力発電所で、
 工事費等のうち約1,000億円が地元に着る計
 算でした。八代外港も数万トンの大型石炭船で

活気を呈するものと考えていました。

3. 創立10周年の茶会が細川護熙先生ご夫妻を
 主賓に、昭和48年4月22日に松浜軒で開催され
 ました。会員の家族代表として飯田、中川、緒
 方、富田、徳住の皆さんをはじめ、会員と家族
 50名が主催して、500名をこえる出席者があり
 盛会でした。

4. 前自衛隊統合幕僚会議長の竹田五郎氏を例
 会の講師に迎えたのは、昭和56年3月例会でし
 た。専守防衛では国は守れないと、雑誌に発表
 され、辞任に追い込まれていた竹田さんに申し
 込んだのは、同氏の現役引退2日前でした。自
 衛隊経由の申し込みができず、直接議長室に申
 し込みました。NHKのNC9の取材申し込み
 が東京からあり、会員の歓迎懇親会まで約10分
 間にわたって全国放送されました。

5. 54年2月例会に寿屋社長の寿崎肇氏を迎え
 たことも、市内の話題になりました。2月7日
 に八代店がオープンした直後で、それまで商店
 街の幹部の中でも全く接触がなかった人も多か
 ったようです。商店街の皆さんもご案内しまし
 たが、会場はなごやかなムードで、寿崎さんが地
 元との強調を訴えたのも印象的でした。直接寿
 屋の社長室に申し込んで実現しました。

6. 奥住正道さんは、すでに講師として5回お
 見えになっています。商店街再開発の打合せで
 深水毅一さんと上京したとき、テレビに出演し
 て講話をされているのを2人で見て、早速ご本
 人に申し込んだのが最初でした。

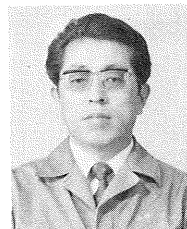


同友会創立10周年記念茶会 細川護熙氏夫妻を囲んで S 48.4.22



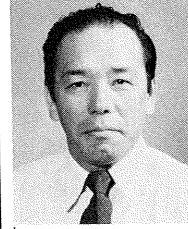
東部山麓現地調査

S 49、5、6



ビジネステレホンは
 貴社のオフィス
 オートメーションです

西崎通信建設株式会社



家畜飼料の単体大麦
 麦ごはん、健康の押麦
 製造元

西田精麦株式会社

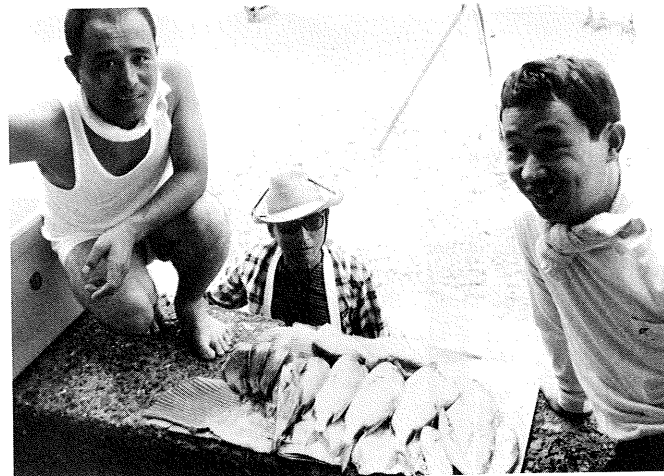


船上観月会 S 47、9、22



湯島のタイ釣り会 S 47、8、20

湯島の見事な釣果



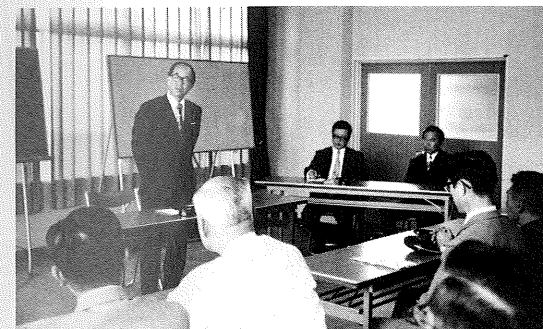
新幹線調査で岩国へ S 47.9.12



日立造船 長洲工場見学
S 49.11.12



くま川祭り市民総踊りに参加
S 58.8.1



沢田知事が例会講師に
S 48.10.11

例会講師 神風正一氏と懇親会
S 56.7.3





八代経済同友会創立18周年記念講演会

宮崎康平氏を囲んで S 44.1.12

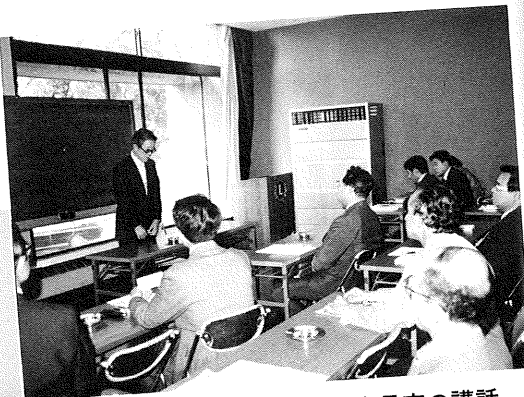


前自衛隊統幕議長
竹田五郎氏の公開講演会
S 56.3.22



会報取材で八代亜紀さんに会う

S 52.1.14



坂田防衛庁長官の講話
S 51.10.9

特集 八代経済同友会 会報

第3号

昭和56年11月17日

発行 八代経済同友会
発行所 八代市小宮町
事務局 八代市松江町
八代商工会館内
2-5620

特集 夏祭りへの提言

新しい祭りによさわい名称を
八代市の歴史、民話等に根ざした八代御祭の名称を
新しい祭りはお盆の直前に
郷愁をそそぎ帰省をうながすような祭りに
お盆の早繰りに合わせて、若者を中心に目玉となる
ような目玉の決定と、それに伴って八代に盛りだくさん、かつ
かつくことを実現されるような祭りの開発を
明るく軽快なリズムと踊りの開発を
心がけ、手足が動かし、人々をいかに楽しませよう
「市民参加」で全市挙げての祭りに
見る祭りに参加する祭りの開発を、全市の
祭りに参加して、商工農政各団体の祭りに、全市の観光サ
の祭りへの転換を
企業や団体等が自ら積極的に参加する祭りに
企業単位、団体単位、学校単位、市民単位等、多
面的に参加する祭りに
児童、生徒、学生、青年等若者中心の祭
りと伝統を完全継承させ、明日への活力を
自らの負担で、すすんで参加する祭り
ハチマキの地産品に加工するなどの要
求を自覚して参加することによる意欲を
高める祭り
夏祭りは前夜祭と花火で賑やか
な祭りを前夜祭とし、前夜祭行事と花
火を連続して快速な祭りに
八代市は夏祭りの大敵、蚊の
脅し
「ふるさと」の祭りをみん
自分たちの、自分たちの
として考えよう

特集 同友会からの提言

「舟唄」で初の大トリ
お願ひします
八代市を
八代市を
八代市を

八代経済同友会 会報

第2号

昭和54年12月27日

発行 八代経済同友会
発行所 八代市小宮町
事務局 八代市松江町
八代商工会館内
2-5620

東幹線 早期開通を 同友会の交通問題への提言

八代市は、東幹線の早期開通を切望している。東幹線の早期開通は、八代市の経済発展に大きく貢献する。同友会では、東幹線の早期開通を切望し、関係機関と連携して、早期開通を実現するための提言を行っている。

地域開発問題を勉強

八代少壮実業家たちで研究会

八代市少壮実業家たちは、地域開発問題を勉強するため、研究会を組織した。研究会では、地域開発に関する情報を収集し、関係機関と連携して、地域開発を実現するための提言を行っている。

地域開発めざして

八代経済同友会が発足

八代市は、地域開発をめざして、八代経済同友会を発足させた。同友会では、地域開発に関する情報を収集し、関係機関と連携して、地域開発を実現するための提言を行っている。

S 38.9.29 西日本新聞

S 44.5.26 熊日日新聞

「水と土」そして人間

豊島政吉

野坂の浦を出でし、帝の渴きをいやした清水は後かたもなく消え失せた。夕葉のさゞ波に映える黄昏の燦めきは弱く、詩情を誘う木立の葉ずり、川面に漂う川苔の香りもなく、ただ幾何模様が眼に迫る。護岸技術は高く評価されているが、治水の根本解決には至っていない。昨夏の大雨時に、人吉の浸水事件で、下流八代市民の犠牲になったの声も聞かれた。人口増なき流域市町村を潤す球磨川の水量は現在の流域面積や堤防では対処し得ない。若し今後流域が発展し、宅地・工場用地開発が進めば必然的に現施設の拡張を図らねばならない。よしんば人口増なくとも、山村の過疎化、木材市況低迷に伴う林業の衰退が、森林の保水能力を喪失せしめる。森林は雨水の47%、農耕地55%、裸地30%、舗道0.5%の保水能力を有すると云われます。道路は町村を不問、舗装され快適なコースを提供してくれる半面、洪水の要件を十分に満足させる。

新宿の降雨量50mm/hで地下室浸水は自然生態系を無視した都市機能の脆弱さを露呈したものである。

雨水を如何に地下水として涵養出来るか又生活排水に伴う河川汚濁の防止体系づくりに腐心

する時に至った。庭付戸建住宅は雨水と汚水を敷地内で処理出来るが、市街地ではそれらは混合して側溝に放流されるので解決策として、下水道が浮上して来たが、その恩恵を蒙るのは一部であり、処理システムの選択の如何では財政破綻を惹起しかねない。抜本的に雨水は屋敷内浸透、市街地は側溝を2面張りにして浸潤処理、生活污水は緑地公園を利用したのコミュニティプラントで処理すべきである。水と土こそが地球を守ってくれるし、水こそ地球発熱の唯一の媒体であり又調整機能を有するものである。土に育てられた有機物は土に還元するのが自然であり、自然科学の再認識と、水と土、そして人間との関わり合いを更に追求したいものである。

同友会への誘い

森本常雄

ソウですネ、私が同友会に入会して七年位になりますか。最初勧誘を受けた時同友会とはどんな団体かも全然知らないし、請われる儘何んにも判らずに入会したって言うわけですよ。

然し入会したら私にとって非常に為になりましたネ、色んな知らない違う職業人との出会いとか、到底自分でお金を出して聴けない様な職業コンサルタントの話、一回の講演料数十万円とか、金丈の問題じゃありませんがネ、聞く丈

でも私の肉になって居ると思いますヨ。私はネその講演の中で一つでも良いから実行する事にして居るんです。私みたいな小売店の場合特に必要な事柄があるみたいですネ。店前の清掃、店舗のガラスのふき掃除、当り前のことですが、案外とネ……。

こんな小さなことも無言の御客へのサービスですヨ。わざわざ有名講師の話を聞かなくても、と思われるかも知れませんが、聞くと言う事で「ハッ」と想い当る事があるんですよ。

それとネ、私は二年前に支店を作ったんですよ。この年になって、今更苦労して支店を作るなんて！又借金、嫌ですよそろそろのんびりとした人生を！ナーンテ思っていたんですが。でも同友会に這入ったら、皆さん自分の仕事に精一杯頑張っているんですネ。私より遥か年輩の人も、若い人は勿論の事ですヨ。宴会の席でも歌なんか聞いた事ないですネ。このカラオケブームの時代にネ、みんな仕事の話ですよ、感心しますよ。みんな頑張っていると思いますネ。そんなこんな理由で、俺ももう一丁気張るかと考え直して、人に遅れてはならじとフンドシを締め直したと言う事です。精力剤を注射して呉れたのは私の場合同友会なんですヨ。そして支店開設と言う段取りになったんですよ。お蔭様で支店の方もいい成績で順調に行っていましたネ、良かったと思っています。同友会様様ですよ。足でも向けて寝りゃ罰が当たりますネ。……

アアそれからもう一つ、年会費も決して高くはないですよ。それとネ私なんか小売店だから

非常に忙しい時があるんですよ、その時は勿論例会等欠席ですよ、商売が一番大事ですからネ。無理して出なくても良いと言う事ですネ。

他にも色々といい事があるんですよ。でもそれは貴殿が入会されてから言う事で、……私なんか他の会は止めても同友会に丈は残り度いですネ。

「どうです、同友会に入会してみませんか、いいですよ」

20周年に寄せて

松田逸夫

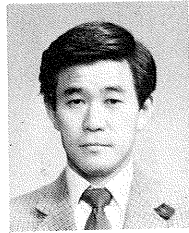
先に八代経済同友会で計画されました工場見学の中で、大津にありますホンダ工場の見学が、他社工場に比べて大変印象に深いものがありました。イギリスの消費者向けの情報誌「ウィッチ」が、2万人のドライバーから寄せられた報告で、日本の自動車が信頼度の点でベストだと報告したそうです。日本の工業製品、車・時計・カメラ・電気機器・工作機械など故障や欠陥が極めて少く、安心して使えると言っているそうです。良い製品を安く作る、大変な事です、それがこの工場で出来ているのです。日本は経済の大国だと言われます。又海外へ旅行致しますと本当に日本製品が世界中に使われている事に気付きます。その工業製品を作っている現場



民間車検指定工場
ダイハツ地区代理店

夢のカーライフを熱意で
創る整備の

(株)橋本モータース



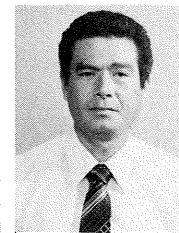
全国結納品組合連合会加盟店
茶道具・椎茸・高田焼

お茶の 濱大松園



八代市本町1丁目7-33

(資)ハヤカワスポーツ八代店



八代市水道事業指定工事店

東設備工業有限会社



を目の前にして「なるほど」と思ったのです。

工場は阿蘇外輪山の麓、国道57号線の北側の静かな緑の台地の中にありました。広大な敷地です。総面積（1850.000平方M）現在はその2分の1が使われているようで、今後もっともっと発展する事でしょう。オートバイ部門だけでなく四輪車の生産も将来はなされるとの事でした。

同友会の30名ばかりのメンバーが工場を一通り案内していただき、まずまず見学者一同肩が凝りました。皆さん毎日仕事をしています。又従業員を使って仕事をされていますが、此の工場の仕事の密度の高い事、もうビックリです。人間こんなに働けるもんですか？特に組立ラインの人々（女性も多数）コンベヤーに乗っての流れ作業ですが、立ち止まる時間も立ち話しをする時間もない様に見えました。こんなに働けば、まさに経済大国間違いなしと感心しました。私の工場で、皆さんの商店で、こんなに働いてくれる人が一人でもいますか。まずいないと思います。でも此の工場では皆さんが働いています。どうしたら少しでも近づけるのですか？

最後に皆さんの質問がありました。従業員の職場への定着度はどうでしょう？皆さん若い人が多い様ですが、定年近くなったら場所によっては離職者が出るのではないのでしょうか？労働災害は？地域と工場の協力関係、賃金の程度その他沢山の質問の山です。しかしそんな心配御無用、皆さん喜んで働いているとのこと。ではどうしてやる気が出るのでしょうか？

①責任を各人が持つ。

②社員全員発言の場がある。仕事方法その他の良いアイディアには社で表彰しどんどん取り入れる。

③時間の流れと仕事が規定通りに進行する。

④自分の仕事のスピードと会社全体の生産の状態が良くわかる。今日の生産、今月の生産が時間と共に表示され目標もはっきりと示される。

⑤当社に働く事に誇りを持たせる。

まだまだ沢山ありますが、次に職場の環境作ります。重い物を持たせない。空気をきれいに、照明を適確に。どうでしょうか、自分の仕事、商店の中に一項でも取り入れたらいかがでしょう。皆さんが喜んで働く職場作りを考えたいものです。

20周年に寄せて

岩 村 龍 男

もう20周年になると、ふと入会時のことを思い出した。

経済同友会の何たるかも知らず入会しただけに、知った人も少く、最初の頃は例会に出席しても何となく落ちつかず、誰とどんな会話をかわし、又、何をどう話したらよいのか全く要領を得ないうちに会合は終っていたというのが事

実だった。しかし、出席を重ねるうちに、メンバーの業種、人間関係などよく分るようになり、例会に出席すること、又、会員の皆さんとお会いすることそのものがとても楽しくなってきた。

経済同友会は情報交換の場、いろいろな相談の場、知恵を出し合う場、行政勉強の場であり、それは直ちに、広い視野から、国・県はもちろん、市政の現況その他今日の経済情勢等を知るとない勉強の場であると思う。

ややもすれば、日常業務に追われ、まわりを眺めるゆとりさえない日々の中で、例会や部会に出席し、諸兄と腹を割って意見交換を行う中から、自分自身を見なおし、明日への戦術も練り、目標設定もおさおさ怠りなく実現できるのは経済同友会のお蔭であり、メンバー各位に対し心から感謝の意を表したい。

企業を支える人と人との連けいを強め、地域経済の発展に少なからぬ寄与をしている経済同友会の役割は殊のほか大きいといえよう。

私は郊外の一スーパー経営者に過ぎないが経済同友会を通じて、素晴らしい先輩、知己を得たことは大きな財産である。得るものの大きさを考えるとき誠に感謝にたえない次第で私自身もっと努力しなければと思っている。

八代経済同友会も20周年を迎えた今日、その名前を知っている人は大分いると思うが経済同友会の何たるかを正確に認識している人は少ないのではない。

市民各位に、経済同友会をもっともっとよく知ってもらい、より多くの方々と交流ができる

ようになれば、経済同友会の存在価値は益々高まるのではないかと、そのような期待の大きさをひしひしと感じている次第である。

一方、八代経済同友会のよさは、気軽に誰とでも話し合える雰囲気にある。そのよさを大切にしながら、行政に対しては積極的な提言を行い、地域社会に根ざした奉仕活動で八代の皆さんに心から愛される存在にならねばと覚悟を新たにしている次第である。

八代市発展のためにも、もっともっとこの八代経済同友会が力強く世に羽ばたくことを心から祈念するものである。

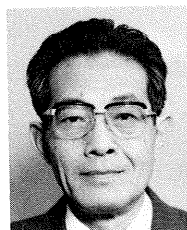
「八代経済同友会」 発足のころ

豊 田 澤 味

いまや、「八代経済同友会」の前身が「八代地域開発研究会」と「八代市産業開発研究会」であることを知っている人は、メンバーの中でも少いのではないのでしょうか。

両研究会の発足は、「八代地域開発研究会」が昭和38年9月25日、「八代市産業開発研究会」が昭和38年11月8日で、メンバーは両方合わせても40名前後でした。

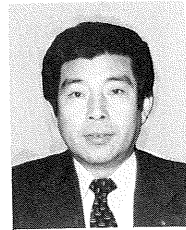
そして、現メンバー111名中、38年末から今日まで残っておられるのは、次の13氏に過ぎません。（敬称略）



幸せと安らぎを

仏具製造

有限会社 深水仏具店



八代市清水町2-70

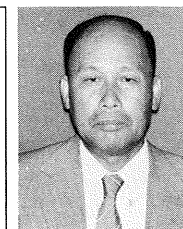
(株) 平 安 閣



高速時代到来

タイヤは専門店に
おまかせ下さい

ブリヂストン八代 株式会社



有限会社 藤本砂利工業

有限会社 藤 本 組

代表取締役 藤 本 正 雄

○上村寿之助○神園藤兵衛○白石 浩○田崎
多十郎○谷口 勝利○徳住 正吉○徳田 義雄
○中村 洋一○松木 国助○宮崎 典三○森
精一○森本 逸夫○和久田昭三

発足当時の「八代地域開発研究会」会則第2
条に、「本会は新産業都市不知火・有明地区の
中核たる八代市を中心とした地域開発について
研究する。」とありますように、両研究会は八
代市の新産業都市指定を契機に生まれたわけで
あります。

その後、両研究会が発展的に合併し、名称こ
そ「八代経済同友会」と変りましたが、その精
神は今も綿々と生き、そのバックボーンとなっ
ています。

両研究会の生みの親、育ての親は、当時、市
役所勤務の森本逸夫氏でした。そして、事務局
で協力いただいたのが同勤の田中正行氏で、
小生はその田中氏のあとをついで、昭和39年5
月から昭和43年4月までの4年間にわたりお手
伝いをさせていただきました。

小生にとって、八代市経済界の重鎮である、
当時新進気鋭の諸兄とのかかわりあいができた
のは実にこの時からで、その経験は、小生が市
役所業務の中に企業意識、経営感覚をとり入れ
ていくうえで大変役だっており、又得難い人間
関係に数多く助けられており、平素より感謝に
たえないところであります。

その後、仕事の都合で、一時、事務局をひか
せていただきましたが、創立10周年記念の折感
謝状をいただいた時には大変感激いたしました。

そして、縁あって、昭和51年にメンバーとし
て仲間入りし今日に至っています。

「八代経済同友会」の益々の躍進とメンバー
各位のご発展を心から祈念してやみません。

熱い眼差

石 田 和 子

経済同友会に、女性が二人いる。

飯田侑子さんと私、つまり紅一点ならぬ紅二
点である。飯田さんは、なかなかの才女で私如
きは足許にも及ばない。しかし唯一つだけ似通っ
たものがある。それは嘗て亡き夫たちが、同友
会で活躍したメンバーであったということだ。

入会当時傷心の私は、その末席に小さくなっ
て座していた。同友会をこよなく愛した夫への
追憶の場でもあった。

しかし、何よりも八代の経済界を荷負う紳士
諸氏の中であって、常に流動して止まない経済
界・政治界の情報等、少しでも社会学を吸収し
て女性特有の視野狭窄に陥らぬことを願っての
入会であった。爾来七年余、例会には欠席勝ち
ながら諸氏の温かい包容力とご理解の前に、今
日まで末席を汚がしている。

ある日、某コンサルタントの講演会があった。
何時もながら、私は後方の席についていた。私
の前には、そうそうたる社長諸氏が整然と席に

つき真剣な面持ちで講演を傾聴しておられた。
その時、私は不思議な錯覚を覚えた。この学生
の如き社長様方の熱い眼差は何だろう。やがて
髪に白銀も降りようと言う年配の社長、或は精
悍そのものと言った青壮年社長、この人達がみ
んな一緒に勉強しようと言う意気に燃えている。
大も小も無位無官となり、この時ばかりは経済
同友会と言う個性を身につけてしまう。それは
どんな団体にも見られないであろう真剣さと、
真面目さとして自らの経営する事業は勿論のこと、
わが郷土の発展と開発を希い努力追求する姿で
ある。

ある時は海外へ、ある時は国内各地へ都市視
察、ある時は学者・政治家・企業成功者・コン
サルタント等々の講演会、まさにエネルギッシュ
な企画運営でありました。

経済同友会も今年で発足20周年を迎える。か
くユニークな経済団体として成長発展して来た
蔭にはその責にあたられた方、歴代の幹部諸氏
のご努力によるものであり、又会員相互の信頼
と協力によるものと思います。

経済界には不況の嵐が吹き荒れています、
今こそ私達は手に手を取り合ってこの難関を乗
り切り、八代に安定した美しい経済都市を確立
しなければなりません。

それが経済同友会に果せられた使命ではない
でしょうか。

女の無力を恥じながらも、記念誌に拙い感想
を寄せさせて頂きました。

同友会と私

木 村 盛 好

昭和51年だったと思いますが、八代テントの
谷口氏より八代経済同友会の事を聞きました。
経済同友会と云う会がある事自体、知りません
でした私を、谷口氏の御推せんに依り入会する
ことが出来た訳でございます。入会致しまして
手元に会の名簿が届きまして、目を通しました
ところ、堂々たるメンバーでこれ丈多くの方々
が入会していらっしゃるのに驚いてしまいました。
私等が入会すると色々御迷惑になるのでは
と心配しておりましたところへ、突然工業委員
長を命ぜられ、困ってしまいました。その時、
森本逸夫氏に相談しましたところ、余り多く考
えずに、何か一つに的をしぼった方が……と云
うことをご助言下さいましたので、誰でも思っ
ている事ではありますが、企業誘致について努
力すると云うことで、勉強目標にする事に致し
ました。

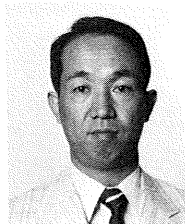
先ず最初に、県の鉱工課に森本氏に同行して
いただき、話を伺って来ました。

先ず第一に情報を早く収集すること、対応を
速やかに行うことが大切な様です。

情報収集の手段として、

イ 県当局と常に接触する。

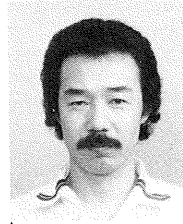
ロ 商社等を通して、企業進出の動きを知る。



創業 65 年
良い品を真心こめて
選びます

めがね 時計 宝石

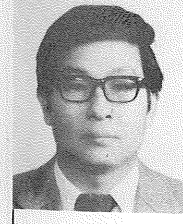
カチカチ堂



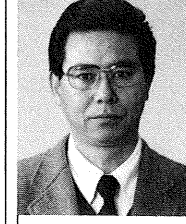
(有)本田デザインルーム

建築工事・設計施工

代表 本田 侃



呉服の 井 野 屋



“愛がめばえ
愛がそだったら”

三 吉 家 具

ハ 銀行・政府関係等全金融機関を通して、
企業進出計画の動きを知る。

ニ 地元出身の企業にPRする。

受入体制について、

- 1 人材の確保が出来ている。
- 2 道路の整備が出来ている。
- 3 地元の熱意が十分ある。
- 4 土地の確保が出来ている。
- 5 税制の優遇措置がある。
- 6 水が豊富にある。

等の話がありました。

当地におきましては、外港の第三工区につき
ましては、大体PRされている様ですので、取
りあえず内陸形先端産業でも進出してくれたら
と思っております。

聞くとことによりますと、市内どこへ行っ
ても聞かれることは、企業誘致をしよう。企業誘
致をしないと市の発展がない。誘致をしたらと
云うことでありますので、市民の合言葉として
「みんなで企業誘致をしよう」を提言し一日も
早く実現します様祈りますと共に、みんなが努
力することだと思っております。

初心に還って

徳田 義雄

地域開発と云い産業開発と言う懐しい語韻を

響かせながら、凡そ八代全域に分布する会員は
所属する職場・企業に於てその伸展のために全
力を傾ける傍ら、之等グループの組織力を結集
して八代地域産業文化の振興開発に打ち込んだ
ものである。

昭和の30年代も中期から後半にかけて日本経
済も復興から成長へと漸くその態勢を整え、そ
の後に続く「世界の奇跡」とも言われた高度経
済成長時代への謂わば黎明期とも言うべき頃で
あったろうか。従ってこの二つの経済団体が一
つに合体して産声を挙げた「八代経済同友会」
の誕生は八代経済界にとって正に画期的な出来
事であったと言わねばならない。

会全体としては勿論、各分科会による凡ゆる
分野での活動の中で特に目覚ましかったのは東
海道新幹線に続いての山陽新幹線の登場で、八
代にも多大な効果を齎すであろう九州新幹線へ
の期待から、今から考えても驚くべきほどの熱
心さでこの問題に取り組んだことである。駅前
再開発、商店街再開発等の検討課題を附随させ、
併せて公園問題なども含めて幾度となく繰り返
された山陽路紀行によって会員相互の連帯感が
益々募って行ったのも、思わぬ旅の功德ではな
かったか。お蔭でこと新幹線問題に関する限り、
元来本筋であるべき市役所の担当課からさえも
同友会への問い合わせがしばしばあったことも愉
快な思い出であろう。

古麓歴史自然公園、八代城跡公園に浮ぶ白鳥、
近くは新しいふるさと造りの一環、球磨川祭り
など同友会の業績に関わるもの、決して渺くな

い中で、独り新幹線の実現が現状稍遠退いた感
があるのは四囲の情勢上止むを得ないものがあるに
せよ、九州縦貫自動車道の完成が、聴て4・
5年先に迫って居ると云う大局的交通体系から
しても、長年の宿縁とも相俟って、八代市にとっ
ては勿論のこと我が同友会にとっても今後の重
要課題であることには些かも変りない筈である。

第一次・第二次オイルショック以来、世界的
不況の波が凡ゆる重大な複合要素を絡ませなが
ら押し寄せている中で、郷土八代地域経済の健
全なる発展を是非とも招来すべき至上任務を課
せられた八代経済同友会の進むべき今後の方途、
それは唯一つ、たじろがず又ためらわず飽くま
でも野性的根性とハングリー精神に徹して突き
進んだ当時創業の初心に還るのみと、今20年の
節目を迎えるに当り去来する感懐に浸りつゝ、独
り思うのである。

20周年に寄せて

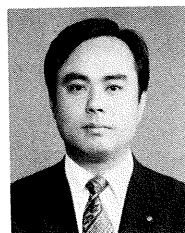
メ 仁一郎

テクノポリス、つまり、技術都市について、
文化とか都市計画とか、政治からとか、大きな
次元でコンピューターを使っても机上的構想で
は、結局、人が住む社会に於ては、商的発想感
覚がなければ、後の利用度に於て成功するとは
限らないと思います。例えば今迄ですと、電車

が必要な時代と考えます。だが敷設すれば赤字
になる。だから駅を作り、駅前を開発しさらに
公共施設、或は遊園地・野球場又は商店街、文
化施設等色々なバランスを考え企画事業を行な
い、他所からの人を呼び、又定住させ、地元民
の交通をも確保する。便乗するそれにつれて街
の活性化、人口増加が進み結局は敷設事業と運
営を成功させるあらまし、その様なパターンで
発展した所は、全国あまたであろうと思います。

これからは、その上の基盤の上に立っての計
画がなされる時代です。世界との交流、人口調
節、生活の仕組等、ある程度定着時代と考えま
すとき、移動開発と拡大開発とに大きく分れる
と思います。それに開発発展です。これは個人
的発想の言葉ですが、私なりに思うことは、移
動開発とは今の場所で今の街を成り行きに任せ、
又見切りをつけ、他の地区へ計画的に開発され
た、つまり中心を移してしまう事です。拡大開
発とは、今の場所を、今の営業を、今の暮らし
を又商店街を、さらに活性化しながら横へ、廻
りへと拡大発展してゆく事です。今の時代、人
口増加が望めない今日なら、後者の方の拡大発
展を望むだろうと思います。

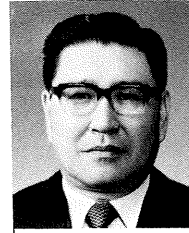
例えば八代では中央商店街があります。昔か
らの信用もあり、のれんもあるとします。でも
車も増え交通が不便で時間もかかり行きにくい
とします。するとお客は少々目的が違っても早
くゆける店で買物を済ませる、ひいては満足を
求めながら大都市等へ流出されてしまう、その
上郊外へ道路が整備されれば、他地区より大型



顧客第一主義の
藤永組です

総合建設業

株式会社 藤永組



通運事業
特定貨物自動車運送事業

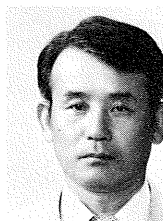
松木産業株式会社



新しい自動車燃料
時代を開く...

LPGスタンド
Ci モーターガス

有限会社 五友商事



コーヒーハウス
琲珈里
ひかり

工業高校前3号線通り

有限会社 八代石油自動車整備工場

店が出店して益々既存商店街は苦しくなる。今の街へ見切りをつけ移動する事もできます。むしろ郊外型商品なら良いでしょう。ただし商店街などは横のつながり又専門店として営業しているのです。

100年の大計も大事です。でも今日も大事です。先行投資も開花するまでにもとおけが駄目にならぬとも限らない時代です。そこで将来として人口増加、又企業誘致も大事です。だが今日も尚大事です。今ある地場産業、商店街も大事です。今の商店街がさびれて全く新しい商店街ができて、今の商店街が苦しむのみです。市の活性化・発展ではないのです。

では、新しい商店街へ移動したらと言う人が居るかも知れません。それこそ100年の大計のためにドライに郷土を捨て、大都会へと思う人がいるかも知れません。それでは無意味です。これこそ政策的・政治的に協力・努力すればまだまだ発展できる事です。そこで、経済同友会としての目的があると思います。再開発、又既存の企業、商店街の活性化、全体の総合開発と机上でなくコンピューターでなく実際の、現実的、計画的と肌で感じた事を今まで県や市と上部機関等へ提言、陳情され続け、採用聞き入れられた事も多々あります。今文化会館・ターミナル等他にも多くの企画がされていると聞きます。市民のために一番ためになる利用が多くて立派な事業になる様同友会も共に考えたいものです。今まで先輩達がなされてきた事は、実にすばらしく愛郷心の最たるものと思います。経

済同友会も満20周年、これを機に一会員としての自覚を更に深めて行きたいと思ひます。

20万都市を夢みる

金 沢 登茂治

私が経済同友会に入会させていただいたのは、昭和51年のことだから、すでに満7年を過ぎようとしています。

以前、私の兄（飯田圭蔵（S46死亡））がまだ産業開発研究会、地域開発研究会と分かれていた頃、当時、市役所に勤務されていた現会員の森本逸夫氏に誘われ入会し、「これからの八代は若い者が立ち上がらねば」と東奔西走し視察旅行等にも働いていたことを思い出します。

たしか現在八代宮のお堀に市民を楽しませている白鳥・黒鳥も宇部の常盤公園を視察に行った時、譲り受けて育てていただいたもので、当時兄の長男が小学5年だった頃、新しく生まれてくる雛を見ては大変よろこんでいました。その子供がすでに大学を卒業し、就職したのですから、時の経つのは早いものです。

今、私も亡くなった兄の歳とほぼ近い頃ですが、十数年前の八代と現在と、街並みは少々変ったようですが、人口にしましても依然十萬少々。交通問題に致しましても、駐車場・大衆交通の手段であるバス路線も、どこかのり場であるか、

市民であっても説明出来ない状態、市内に多すぎる一方通行をふくめた交通基盤整備と道路の改善。八代駅はすでに80年の歳月を越え、老朽化はひどく、駅前地区の再開発を共に考えねばならない現状に來ているようでございます。

熊本県第一の都市であります熊本市は、すでに人口50万を突破し80万から100万都市構想を目ざして着実に発展しようとしています、第2の都市である県南の我が八代市が、全く取り残されては、均衡のとれた熊本県の発展は、とうてい望めるものではありません。

知事も新任され、市長も再任され心機一転の思いでおられる時、八代市もここで大きく20万都市構想をかかげ、

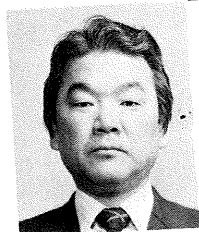
- 県が計画するテクノポリス構想への参画
 - 近郊町村を含めた広域行政の新八代市を建設
 - 八代市の中央に交通基盤の整備のひとつとしてのターミナル建設
 - 県有臨海工業地への臨港線の建設促進と企業誘致
 - 日本三急流を単なる排水路化させず、観光開発の資源としての活用
 - 県営諸施設を県南の拠点としての建設 etc
- バランスのとれた熊本県再開発と八代市住民の一人一人が大きな夢をえがきながら次の世代へ申し送る八代市の発展を、20周年を迎えた経済同友会も共に考えたいものです。

宇部常盤公園にて

加 藤 忠 昭

その年の研修旅行が、宇部市にきまり私も参加した。宅部市を目的地に選んだ理由は、先に八代市へ経済同友会より贈った、白鳥のつがいの内一羽が死亡、一羽だけではかわいそうだ、残った一羽を、雄か雌かを鑑定して貰い嫁になるか婿になるか、いづれにせよ、元通りにしてやろう、との幹事会の希望意見があり、宇部市を選んだとの事だった。会員のM氏の連絡、お世話で、無事旅館に着いたら間もなく、宇部市役所の笹田氏が来られ、懇談会にうつり、持って行った話が、無理な事を知らされた。常盤池になん千羽という白鳥が居るが、どれとでもつがいになるということではなく、双方がしっかりとたしかめ合い、認め合ったもの同志でないと、ペアにならない。一度なったら、終生添い遂げるとの事。私のとなりで話を聞いていたK氏が「白鳥とは不便なものですナー、オレは白鳥に生まれてこんでよかったバイ」皆も同感と笑い出した。

笹田氏からの提案で「八代に一羽を送ってもつがいになるかどうか分らないので、八代の一羽を宇部に送って下さい。こちらから、すでにつがいになっている二羽を送りましょう」と云



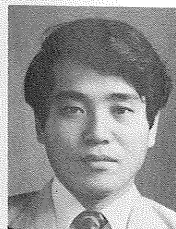
畳表替え運動に
協力を

(有) 松永全司商店



八代市本町1丁目10-44

(資) ちくさ堂



「和風旅館日奈久ホテル」
!!マイクロ送迎!!

(有) 日奈久ホテル



カバン・ファッションバッグ
舶来雑貨の店

美松屋

夢ある
アクセサリ 2F シャルマン

う事になり、話は公園の話にうつり日本人は、公園の利用の仕方が下手である。外国に行っても、首からカメラをぶらさげて両手に荷物を持っている人をみたら、大体、日本人と思え、と言う話の最中に、会員のT氏が「大変遅れました」と云って、部屋に入ってくられ、姿をみれば、土産品を大きな紙袋に2個タオルにつないで、振り分け荷物よろしく荷負う格好。偶然話が話であっただけに、皆大笑い、笹田氏は恐縮して苦笑い。T氏は意味が分らず皆と一緒に笑われる格好がユーモラスで、しばらくは笑いが止らず、その後の懇親会も笹田氏を交えて愉快に一時を過ごした。

その時の白鳥も年がたち次第に数も殖えたが他人とも思えず、通りがかりには、「オーイ元気か?」とつい声をかける。

その時旅行を一緒にしたのがきっかけで、10年1日の様なお付き合いをしている友人がある。

地域の人間関係・交友の場として八代経済同友会が果たす役割は大きいと思う。

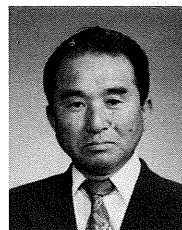
今後益々発展する事を心から祈る。



〈天に太陽〉〈地に花〉〈人に愛〉

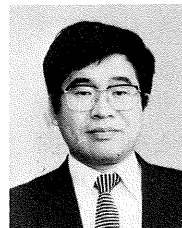
ユニオンファッションビル

八代寿屋百貨店



よみがえる資源!!
あらゆる包装資材の
新技術を開発提供する

(資) 南包装容器工業所



上・下水道工事
冷・暖房工事
汚水処理工事
電気工事
土木工事

(有) みなよし設備



八代市新町4-17

(株) みずあらい

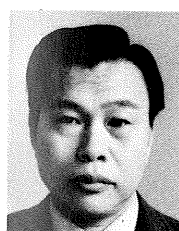


税金のことは
正規の税理士に
御相談下さい

宮川英公税理士事務所

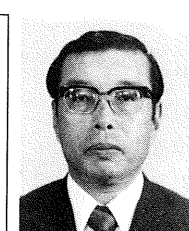
八代経済同友会会員名簿

			(入会年月)	(自宅電話)				(入会年月)	(自宅電話)
1	上村	寿之助	38年9月		30	豊島	政吉	46年12月	
2	徳住	正吉	38年9月		31	加藤	丈直	47年1月	
3	田崎	多十郎	38年9月		32	松本	欣治	47年1月	
4	森本	逸夫	38年9月		33	田村	正平	47年1月	
5	中村	洋一	38年9月		34	有馬	重雄	47年2月	
6	松木	国助	38年9月		35	中川	勝	47年2月	
7	神園	藤兵衛	38年9月		36	江上	俊助	47年4月	
8	宮崎	典三	38年9月		37	深水	毅一	48年2月	
9	白石	浩	38年10月		38	松本	幸之助	48年3月	
10	谷口	勝利	38年11月		39	宮崎	哲夫	48年2月	
11	森	精一	38年11月		40	本田	侃	49年1月	
12	徳田	義雄	38年12月		41	鬼塚	直幸	49年2月	
13	和久田	昭三	38年12月		42	本島	九州男	49年9月	
14	飯田	忠一郎	40年11月		43	寺本	哲哉	49年10月	
15	古閑	雄幸	41年2月		44	橋本	敬信	50年1月	
16	島	興人	41年2月		45	石田	和子	50年9月	
17	西田	満伸	41年2月 (0963)		46	木村	健一	51年1月	
18	鳥巢	覬吉	42年10月		47	豊田	澤味	51年1月	
19	古島	健一	42年10月		48	中野	進夫	51年1月	
20	小笹	康介	42年10月		49	浜	大八郎	51年1月	
21	要名本	義輔	42年10月		50	深水	敏男	51年1月	
22	庄野	寛	42年10月		51	緒方	光治	51年1月	
23	円仏	公一	45年1月		52	木村	盛好	51年5月	
24	藤本	正雄	45年1月		53	小早川	宗一郎	51年6月	
25	岩村	龍男	46年3月		54	島	惣一郎	51年6月	
26	〆	仁一郎	46年4月		55	田辺	太	51年6月	
27	正木	正八郎	46年4月		56	松田	逸夫	51年6月	
28	早川	英世	46年7月		57	松本	康裕	51年6月	
29	飯田	侑子	46年12月		58	宮川	英公	51年6月	



総合印刷

合名会社 クギヤ印刷所



ご愛顧90年!
郷土の酒をもう一本!

酒類卸・小売

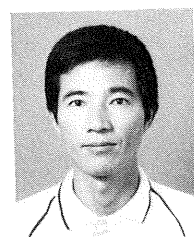
合資会社 宮崎商店

—— 八代経済同友会会員名簿 ——

	(入会年月)	(自宅電話)		(入会年月)	(自宅電話)
59 持 丸 富士男	51年 6 月		88 岩 崎 弥 生	56年 3 月	
60 山 下 益 雄	51年 8 月		89 木 庭 實 實	56年 3 月	
61 作 尾 勝 勝	51年 9 月		90 松 嶋 正 正	57年 1 月	
62 沢 村 正 光	51年 9 月		91 大 野 久 義	57年 1 月	
63 山 本 良 正	51年 9 月		92 豊 田 宏 宏	57年 1 月	
64 岩 本 保 一	51年 9 月		93 松 永 学 学	57年 1 月 (096)	
65 川 辺 国 雄	51年 9 月		94 守 田 憲 行	57年 1 月	
66 下 田 誠 一	51年 9 月		95 木 田 哲 次	57年 2 月	
67 金 沢 登 茂治	51年11月		96 真 木 清 司	57年 3 月	
68 森 本 常 雄	51年11月		97 潮 弘 弘	57年 3 月	
69 熊 川 一 夫	52年 1 月		98 坂 本 盛 幸	57年 3 月 (09)	
70 粟 津 彰 夫	52年 4 月		99 岡 本 武 志	57年 5 月	
71 上 原 貞 夫	52年 4 月		100 米 沢 徹 徹	57年 7 月 (09)	
72 西 崎 直 直	52年 4 月		101 水 田 周 二	58年 1 月	
73 谷 口 忠 司	52年10月		102 正 木 敏 照	58年 1 月	
74 内 田 孝 司	52年11月		103 桑 山 紘 一	58年 1 月	
75 庄 野 隆 明	52年12月		104 福 島 和 敏	58年 2 月	
76 桑 原 隆 夫	53年 1 月		105 谷 口 一 男	58年 2 月	
77 皆 吉 剛 剛	53年 7 月		106 荒 木 暁 朗	58年 2 月	
78 梶 野 正 行	54年 2 月		107 後 藤 秀 文	58年 3 月	
79 南 新 一 一	54年 2 月		108 森 山 刈 雄	58年 4 月	
80 木 下 二 德	54年 3 月		109 吉永二千六百年	58年 5 月	
81 水 洗 十三郎	54年 7 月		110 東 光 則	58年 5 月	
82 大 石 巖 敏	55年 6 月		111 田 上 秀 逸	58年 5 月	
83 木 村 盛 敏	55年 6 月				
84 有 田 秀 男	56年 1 月				
85 森 山 芳 訓	56年 1 月				
86 伊 藤 政 秋	56年 1 月				
87 中 原 邦 夫	56年 1 月				

(昭和58年9月1日現在)

同じ月のときは受付日の順に、同じ日のときは受付順に致しました。同一の会社で会員が交替の場合はその年月で登録してあります。

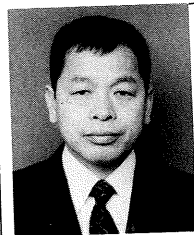


有限
会社

ね ぼ け 堂

創業大正 8 年

手づくりの味
ふるさとの味を大切に



株式会社 盛 建 設

設計から施工まで
建築の総合メーカー

八 代 市 港 町 47
☎(0965)37-1610(代)

さかえ



ビデオ・オーディオ

ラジオ・クロネコ



一 級 建 築 士
二級土木施工管理技士

有限会社 大石一級建築設計事務所



あかるい明日を
地元とともに
「中央しんきん」

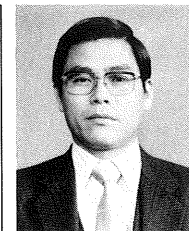
熊本中央信用金庫



未来の広告を考え
時代の看板を創る

合 資 会 社

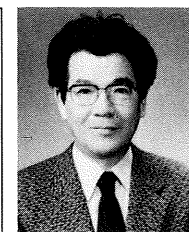
広告美術アトリエ社



株式会社
出 雲 総 業

専務 守田 憲行

冠婚部 出 雲 会 館
葬祭部 守 田 葬 儀 社



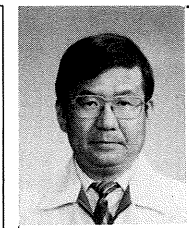
釣り具・えさ専門店
Fishing Center

イ ル カ

八代3号線・夕葉橋より800m

フィッシングセンター

(資) イ ル カ

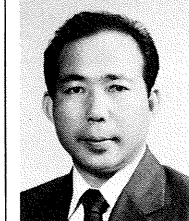


フレッシュミート

お肉の 来 民 屋

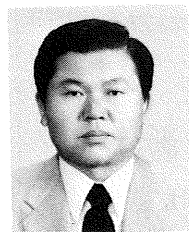
すきやき くたみや
寿屋 ミルキーハウス

合資会社 来 民 屋



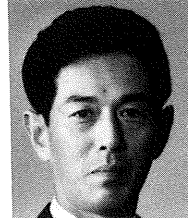
お土産に御贈答に
もち入りもなか
肥 後 菊

合資会社 菓子の 末 広



八代市旭中央通10-1

ホテル サンルート八代



有限会社 八代ドライビングスクール



くらしと産業の礎をひらく
パートナーシステム
白鷺電気工業(株)

白鷺電気工業株式会社



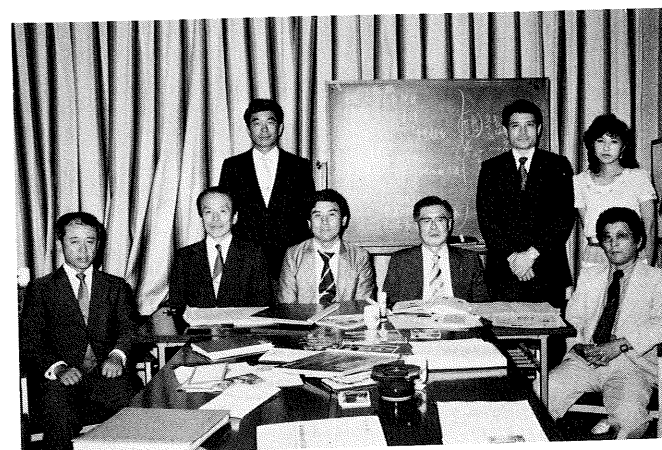
建設大臣許可
特定建設業

和久田建設株式会社

編集後記

記念誌委員長
島 興 人

20周年の節目として同友会の歴史をまとめることと、発行日は記念式当日とする、という20周年企画委員会の意向を受け4月から8月まで十数回の編集会議を開きました。当初は原稿が集まるだろうか？というのが委員の一番の心配でしたが、皆様の温かいご協力により案外早く集まり一応の目途が立ちました。ただ、各ページの会員紹介を兼ねた広告欄に載せる写真が中々集まらないのは困りました。事業年度紹介の代表幹事の中には現在退会の人もおられ協議して当時の役員に依頼したり、集まったすばらしい原稿の中で記憶違いなどがはっきりとわかるものについては編集の際修正



させて頂きました。表紙は山下委員が八代市域図の中に20万都市をめざして同友会のメンバーが力強く活動している様を、周辺農業を象徴するモスグリーンで色どったアイデアです。又森本委員の豊富な資料を、多数使わせて頂きました。最後に御協力下さいましたご来賓各位、会員諸兄、そして緒方印刷所の皆さんに編集委員一同厚く感謝申し上げます。

RKK for the BEST!



この町をきれいに
するのにはまず私。

いったい誰が捨てるのでしょうか。

私たちの身のまわりには、ゴミ、空缶、タバコの吸い殻などがいっぱい。

このままでは、美しいふるさと熊本が汚れてしまいます。

ほんのちよつとした公德心の欠如が大きな環境汚染を招き、

こころの荒廃にまでつながっているとしたら...

さあ、熊本の町や村からゴミを一掃して

美しい自然を戻しましょう。

そこでRKKでは熊本日日新聞と協力して、

『グリーン・クリーン・くまもと』キャンペーンを

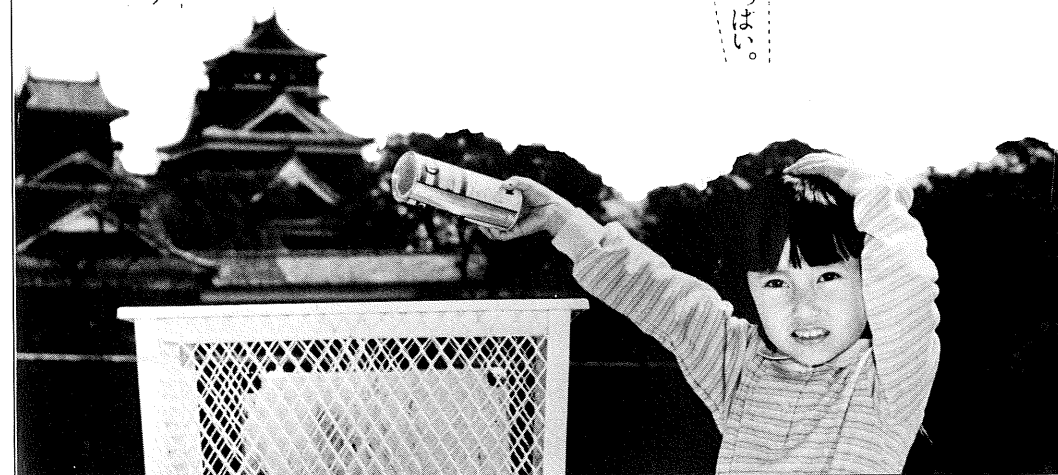
一年間にわたって展開いたしております。

「誰が拾うのか、誰が美しくするのか」をいう前に

まず「自分が捨てない」という行動を大切にしたい。

どうか、皆様ひとりひとりの胸にこのテーマが広がりますように

いま私たちは、呼びかけます。



熊本放送

熊本市山崎町30 ☎53-5151(代)

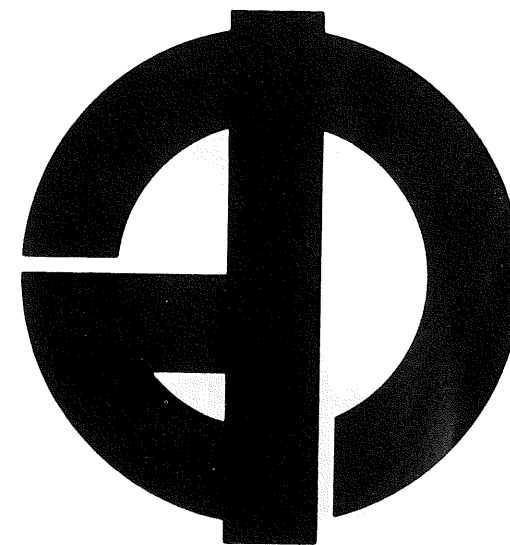
「ニチイは生活を愛と考えます」



ニチイ

八代市本町3丁目
☎ 0965(35)2121

〈天に太陽〉〈地に花〉〈人に愛〉



ユニオンファッションビル

八代
寿屋
百貨店

八代市通町8番
☎ 0965-35-7111

第一工業部会



三楽オーシャン株式会社八代工場

《主な商品》

- 難燃繊維 コーデラン
- 色あせしない原染繊維 レーヨン
- 包装の第一人者 セロファン
- 食品包装最適のポリセツト・ボニール



株式会社

興人

八代工場

〒866 八代市興国町一―

取締役工場長 石塚和則



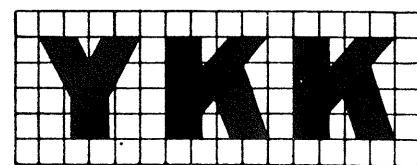
十條製紙株式会社

八代工場

八代市十条町一―

電話(〇九六五)三三一二二―

すばらしい明日をめざして



ファスナー アルミ建材

吉田工業株式会社九州工場

旭 相 互 銀 行
中 央 信 用 金 庫

通町支店・八代支店

肥 後 銀 行

八代市場支店・八代支店
中 支 店・八代駅前支店
日奈久支店

熊 本 相 互 銀 行

長 崎 相 互 銀 行

肥 後 相 互 銀 行

西 日 本 相 互 銀 行

八代市内金融機関

温泉の
なつかしい
匂いの中...

露地に下駄の音…
鈴をつけた馬車…
焼きたての竹輪の
香ばしい匂い

幻想とロマンの港町
日奈久温泉

ふるさとを求める
旅人の
心のオアシス!!

日奈久温泉旅館組合

事務局・☎ (0965) 38-0614

